

大学番号：030

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

国際医療福祉大学 医学部 医学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務部 教務課

職名・氏名 カノウ マサキ
加納 正基

電話番号 0476-20-7703

（夜間） 0476-20-7703

F A X 0476-20-7702

e-mail narita_gakumu@iuhw.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医学部

＜医学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	22
6. 留意事項等に対する履行状況等	75
7. その他全般的事項	82

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学

(3) 大学の位置

〒286-8686：千葉県成田市公津の杜4丁目3番
(本部：324-8501 栃木県大田原市北金丸2600番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学長	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)		
学部長	(キタムラ キヨシ) 北村 聖 (平成29年4月)		
学科長等		(ヨシダ モトフミ) 吉田 素文 (平成29年4月)	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合（平成30年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医学部 医学科 学士（医学）	医学関係	6年	140人	0人	840人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	140 (0) [20]		140 (0) [20]		() () []		() () []		() () []		() () []		() () []		1.00倍	
志願者数	(3,478) [85]	() []	(3,453) [99]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	(3,356) [83]	() []	(3,346) [94]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	(284) [21]	() []	(341) [21]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	(140) [20]	() []	(140) [20]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.00													

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	140		140												
	[20]	[]	[20]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
2年次			140												
			[20]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
			()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
3年次															
					[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
					()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	
4年次															
							[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
							()	()	()	()	()	()	()	()	
4年次															
										[]	[]	[]	[]	[]	
										()	()	()	()	()	
4年次															
計	140		280												
	[20]	[]	[40]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	140人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	280人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
平成34年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
			平成34年度	人	人	
合計	420人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{140} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{280} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成34年度】

$$\frac{\text{平成34年度の退学者数(a)}}{\text{平成34年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学部 医学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
総合教育科目	死生学	1 ①		1							兼1
	医学史	1 ①		1							兼1
	芸術政策論	1 ①		1							兼1
	日本の近現代史	1 ①		1							兼1
	医療プロフェッショナル ズムⅠ(入門)	1 ①②③	2			10	2				
	医療プロフェッショナル ズムⅡ(応用)	2 ①②	1			8	2				
	医療プロフェッショナル ズムⅢ(発展)	3 ①	1			8	2				
	法と医療	1 ①	1								兼1
	社会保障と医療制度	1 ①	1								兼2
	英字新聞で読む社会 学・政治学	1 ①		1	2						兼1
	国際機関論	1 ①		1							兼1
	持続可能な発展	1 ①		1							兼1
	異文化コミュニケーション	1 ①		1							兼1
	国際関係論	1 ①		1							兼1
	国際医療保健学Ⅰ(入 門)	1 ②	1			5		6	2		
	国際医療保健学Ⅱ(応 用)	2 ①	1			4		5	1		
	国際医療保健学Ⅲ(発 展)	3 ①	1			3		5	1		
	数学	1 ①		1							兼1
	生物学	1 ①		1	1						
	化学	1 ①		1							兼1
	物理学	1 ①		1							兼1
	医療生物学	1 ①	1			1					
	医療化学	1 ①	1			1					
医療物理学・医用工学	1 ①	1			1						
統計学	1 ③	1								兼1	
英語Ⅰ(入門)	1 ①	2			2	2	3	1			
英語Ⅱ(応用)	1 ①②③	6			2	2	3	1			
英語コミュニケーション A(入門)	1 ①②③		6	1	1	3					
英語コミュニケーション B(実践)	1 ①②③		6	1	1	3					
ドイツ語入門(会話含む)	1 ①		1							兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
総合教育科目	死生学	123 ①									兼1
	医学史	123 ①		1		5	1				兼2
	芸術政策論	123 ①		1							兼1
	日本の近現代史	123 ①		1							兼1
	医療プロフェッショナル ズムⅠ(入門)	1 ①②③	2			10	1				
	医療プロフェッショナル ズムⅡ(応用)	2 ①②	1			8	1				
	医療プロフェッショナル ズムⅢ(発展)	3 ①	1			8	1				
	法と医療	1 ①	1								兼1
	社会保障と医療制度	1 ①	1								兼2
	英字新聞で読む社会 学・政治学	123 ①		1	1						兼2
	現代日本考～政治・経 済・社会・文化を理解す る道しるべ～	123 ①		1							兼1
	国際機関論	1 ①		1							兼2
	持続可能な発展	1 ①		1							兼1
	異文化コミュニケーション	1 ①		1							兼1
	国際関係論	1 ①		1							兼1
	経済成長をめぐる世界 の諸問題	123 ①		1							兼1
	国際医療保健学Ⅰ(入 門)	1 ②	1			5	1	4	2		
	国際医療保健学Ⅱ(応 用)	2 ①	1			5		3	1		
	国際医療保健学Ⅲ(発 展)	3 ①	1			4	1	4	1		
	数学	123 ①		1							兼1
	生物学	123 ①		1	4						
	化学	123 ①		1					1		
	物理学	123 ①		1							兼1
医療生物学	1 ①	1			1						
医療化学	1 ①	1			1			1			
医療物理学・医用工学	1 ①	1			1						
統計学	1 ③	1								兼1	
英語Ⅰ(入門)	1 ①	2			3	2	6	1			
英語Ⅱ(応用)	1 ①②③	6			3	2	6	1			
英語コミュニケーション A(入門)	1 ①②③		6	2	1	6	1			兼1	
英語コミュニケーション B(実践)	1 ①②③		6	2	1	6	1			兼1	
ドイツ語入門(会話含む)	1 ①		1							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	中国語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	韓国語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	フランス語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	スペイン語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	タイ語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ベトナム語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ビルマ語入門(会話含む)	1 ①			1							兼1
	ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	中国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	タイ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ベトナム語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅰ-A(作文)	1 ①			1							兼1
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1 ①			1							兼1
	日本語Ⅱ-A(作文)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼1
	日本語Ⅱ-C(発表討論)	1 ①			1							兼1
日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1 ①			1							兼1	
日本語Ⅲ-A(作文)	1 ②③			1							兼1	
日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1 ②③			1							兼1	
日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1 ①			1							兼1	
日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1 ①			1							兼1	
医療福祉専門漢字	1 ②③			1							兼1	
医療福祉専門語彙	1 ②③			1							兼1	
専門教育科目(専門基礎科目)	医学英語	2 ①②	8			1	3	3	1			
	医療入門・正常解剖演習	1 ①	1			4	2		2			兼1
	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	1 ①②③	1			3	3		1			
	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	2 ①②	1			3	3		1			
	基礎医学総論Ⅰ(生化学)	1 ②	3			1		1				
	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	1 ②	2			1	1		1			
	基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	1 ②	1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教育科目	中国語入門(会話含む)	1 ①			1								兼1
	韓国語入門(会話含む)	1 ①			1								兼1
	フランス語入門(会話含む)	1 ①			1								兼1
	スペイン語入門(会話含む)	1 ①			1								兼1
	タイ語入門(会話含む)	1 ①			1								兼1
	ベトナム語入門(会話含む)	1 ①			1								兼1
	ビルマ語入門(会話含む)	1 ①			1								兼1
	ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③			1								兼1
	中国語応用(会話含む)	1 ②③			1								兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 ②③			1								兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 ②③			1								兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 ②③			1								兼1
	タイ語応用(会話含む)	1 ②③			1								兼1
	ベトナム語応用(会話含む)	1 ②③			1								兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 ②③			1								兼1
	日本語Ⅰ-A(作文)	1 ①			1					1			兼3
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1 ①			1					1			兼3
	日本語Ⅱ-A(作文)	1 ②③			1					1			兼3
	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1 ②③			1					1			兼4
	日本語Ⅱ-C(発表討論)	1 ①			1					1			兼3
日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1 ①			1					1			兼4	
日本語Ⅲ-A(作文)	1 ②③			1					1			兼2	
日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1 ②③			1					1			兼2	
日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1 ①			1					1			兼2	
日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1 ①			1					1			兼4	
医療福祉専門漢字	1 ②③			1					2			兼4	
医療福祉専門語彙	1 ②③			1					2			兼5	
日本語Ⅳ-C(発表・討論)	2 ①			1								兼1	
日本語Ⅳ-E(読解・作文)	2 ②③			1								兼1	
日本語Ⅴ-C(発表・討論)	2 ①			1								兼1	
日本語Ⅴ-E(読解・作文)	2 ②③			1								兼1	
専門教育科目(専門基礎科目)	医学英語	2 ①②	8			2	3	2	1				
	医療入門・正常解剖演習	1 ①	1			11	4	1	1			兼1	
	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	1 ①②③	1			5	3		1				
	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	2 ①②	1			5	3	1	1				
	基礎医学総論Ⅰ(生化学)	1 ②	3			3		1					
	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	1 ②	2			1	1	1	1				
	基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	1 ②	1			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門教育科目（専門基礎科目）	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	1②	2			2						
	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	1②	2			1		1				
	基礎医学総論Ⅵ(組織学)	1②	1			2						
	基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	1②	1			3	1		1		兼1	
	基礎医学総論Ⅷ(病理学)	1②	1			5		2				
	基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	1②	1			5		2				
	発生・出産	1②	2			4						
	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	1③	5			8	2	1				
	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	1③	5			11	1	2			兼1	
	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	2①	5			10	3	7	1			
	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	2①	4			8	1					
	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	2①	3			13		1				
	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	2①	4			8		1				
	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	2①	4			5						
	器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	2②	6			9	1					
	器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	2②	3			5	1	1				
	器官別統合講義Ⅹ(血液系)	2②	3			3	1					
	正常人体解剖実習	2③	3			3	1			1		兼2
	関連職種連携ワーク	4①	1			1						兼8
	関連職種連携実習	4①		1		2						
海外医療体験	1①			2	2					6		
専門教育科目（専門科目）	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2②	4			4						
	感染症	2②	3			3		1	1			
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2②	3			16		1				
	救急と集中治療	2③	1			1	1	1				
	麻酔	2③	1			4		1				
	予防医学・行動科学	2③	1			5		2				
	老年医学	2③	1			3						
	社会医学Ⅰ(医療管理学)	3①	1			1						
	社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	3①	2			2						
	社会医学Ⅲ(法医学)	3①	1			1		1				
	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	3①	1			3						
	社会医学Ⅴ(演習)	3①	2			4		2	2			
	総合臨床医学	3①	11			37	4	4	1			
	臨床診断入門	3②	14			22	2	1				
症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3③	9			8	2						
総括講義	6②	15			10	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門教育科目（専門基礎科目）	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	1②	2			3						
	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	1②	2			2		2				
	基礎医学総論Ⅵ(組織学)	1②	1			2						
	基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	1②	1			2	2	1			兼1	
	基礎医学総論Ⅷ(病理学)	1②	1			5		2				
	基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	1②	1			5		3	2			
	発生・出産	1②	2			4						
	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	1③	5			9	4	2				
	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	1③	5			13	3	2				
	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	2①	5			10	4	6	1			
	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	2①	4			9	3	1	1			
	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	2①	3			14	3	2	1			
	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	2①	4			8	1	1				
	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	2①	4			6	2	2	2			
	器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	2②	6			19	2	1				
	器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	2②	3			9	1	1				
	器官別統合講義Ⅹ(血液系)	2②	3			4	1					
	正常人体解剖実習	2③	3			3	3	1				兼2
	関連職種連携ワーク	4①	1			1						兼8
	関連職種連携実習	4①		1		2						
海外医療体験	1①			2	2					7		
専門教育科目（専門科目）	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2②	4			8	1					
	感染症	2②	3			4	1	2	1			
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2②	3			23	3	1				
	救急と集中治療	2③	1			5	3	1				
	麻酔	2③	1			4		1				
	予防医学・行動科学	2③	1			6		1				
	老年医学	2③	1			10						
	社会医学Ⅰ(医療管理学)	3①	1			1						
	社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	3①	2			1						
	社会医学Ⅲ(法医学)	3①	1			1		1				
	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	3①	1			2						
	社会医学Ⅴ(演習)	3①	2			3		1	2			
	総合臨床医学	3①	11			40	2	5	1			
	臨床診断入門	3②	14			23	2	2				
症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3③	9			9	1						
総括講義	6②	15			8	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
(専門教育科目)	臨床実習Ⅰ(基礎)	4 ①②③	40			79	30	24	20	兼8
	臨床実習Ⅱ(発展)	5 ①	15			79	29	24	20	兼8
	臨床実習Ⅲ(専門)	5 ②③	25			60	13	14	11	兼1
	臨床実習Ⅳ(実践)	6 ①	10			128	39	36	30	兼9

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
(専門教育科目)	臨床実習Ⅰ(基礎)	4 ①②③	40			86	37	28	30	兼5
	臨床実習Ⅱ(発展)	5 ①	15			88	36	28	30	兼5
	臨床実習Ⅲ(専門)	5 ②③	25			62	14	18	19	
	臨床実習Ⅳ(実践)	6 ①	10			136	47	43	47	兼5

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
総合教育科目	死生学	1 ①		1							兼1
	医学史	1 ①		1		5	1				兼1
	芸術政策論	1 ①		1							兼1
	日本の近現代史	1 ①		1							兼1
	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	1 ①②③	2			10	1				
	医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)	2 ②③	1			8	1				
	医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)	3 ①	1			8	1				
	法と医療	1 ①		1							兼1
	社会保障と医療制度	1 ①		1							兼2
	英字新聞で読む社会学・政治学	1 ②			1	2					兼1
	現代日本考～政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ～	1 ①			1						兼1
	国際機関論	1 ①		1							兼2
	持続可能な発展	1 ①		1							兼1
	異文化コミュニケーション	1 ①		1							兼1
	国際関係論	1 ①		1							兼2
	国際医療保健学Ⅰ(入門)	1 ②	1			5		4	2		
	国際医療保健学Ⅱ(応用)	2 ①	1			4		4	1		
	国際医療保健学Ⅲ(発展)	3 ①	1			3		4	1		
	数学	1 ①			1						兼1
	生物学	1 ①			1	1					
	化学	1 ①			1			1			
	物理学	1 ①			1						兼1
	医療生物学	1 ①	1			1					
医療化学	1 ①	1			1						
医療物理学・医用工学	1 ①	1			1						
統計学	1 ③	1								兼1	
英語Ⅰ(入門)	1 ①	2			2	2	4	1			
英語Ⅱ(応用)	1 ①②③	6			2	2	4	1			
英語コミュニケーションA(入門)	1 ①②③			6	1	1	4				
英語コミュニケーションB(実践)	1 ①②③			6	1	1	4				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
総合教育科目	ドイツ語入門(会話含む)	1 ①			1						兼1
	中国語入門(会話含む)	1 ①			1						兼1
	韓国語入門(会話含む)	1 ①			1						兼1
	フランス語入門(会話含む)	1 ①			1						兼1
	スペイン語入門(会話含む)	1 ①			1						兼1
	タイ語入門(会話含む)	1 ①			1						兼1
	ベトナム語入門(会話含む)	1 ①			1						兼1
	ビルマ語入門(会話含む)	1 ①			1						兼1
	ドイツ語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	中国語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	韓国語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	フランス語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	スペイン語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	タイ語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	ベトナム語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	ビルマ語応用(会話含む)	1 ②③			1						兼1
	日本語Ⅰ-A(作文)	1 ⑩			1						兼4
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1 ⑩			1						兼4
	日本語Ⅱ-A(作文)	1 ②③			1						兼4
	日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1 ②③			1						兼4
	日本語Ⅱ-C(発表討論)	1 ⑩			1						兼4
	日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1 ⑩			1						兼5
	日本語Ⅲ-A(作文)	1 ②③			1						兼3
	日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1 ②③			1						兼3
	日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1 ⑩			1						兼3
	日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1 ⑩			1						兼5
医療福祉専門漢字	1 ②③			1						兼4	
医療福祉専門語彙	1 ②③			1						兼5	
専門教育科目(専門基礎科目)	医学英語	2 ①②	8			1	3	2	1		
	医療入門・正常解剖演習	1 ①	1			3	3	1	1		兼1
	医療面接・身体診察Ⅰ(入門)	1 ①②③	1			3	2		1		
	医療面接・身体診察Ⅱ(応用)	2 ①②	1			3	2		1		
	基礎医学総論Ⅰ(生化学)	1 ②	3			1		1			
	基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)	1 ②	2			1	1		1		
	基礎医学総論Ⅲ(免疫学)	1 ②	1			1					
	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	1 ②	2			2					
	基礎医学総論Ⅴ(薬理学)	1 ②	2			1		1			
	基礎医学総論Ⅵ(組織学)	1 ②	1			2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門教育科目(専門基礎科目)	基礎医学総論Ⅶ(組織学演習)	1 ②	1			2	2	1	0		兼1
	基礎医学総論Ⅷ(病理学)	1 ②	1			5		2			
	基礎医学総論Ⅸ(病理学演習)	1 ②	1			5		2			
	発生・出産	1 ②	2			4					
	器官別統合講義Ⅰ(循環器系)	1 ③	5			8	3	2			
	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	1 ③	5			11	2	2			兼1
	器官別統合講義Ⅲ(消化器系)	2 ①	5			9	4	7	1		
	器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)	2 ①	4			6	2				
	器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	2 ①	3			12	1	1			
	器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む))	2 ①	4			7	1	1			
	器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病)	2 ①	4			4	1				
	器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系)	2 ②	6			7	2				
	器官別統合講義Ⅸ(感覚器系)	2 ②	3			5	1	1			
	器官別統合講義Ⅹ(血液系)	2 ②	3			3	1				
	正常人体解剖実習	2 ③	3			2	2	1	0		兼2
	関連職種連携ワーク	4 ①	1			1					兼8
	関連職種連携実習	4 ①		1		2					
海外医療体験	1 ①			2	2			6			
専門教育科目(専門科目)	胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床)	2 ②	4			4					
	感染症	2 ②	3			3		1	1		
	腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)	2 ②	3			16		1			
	救急と集中治療	2 ③	1			1	1	1			
	麻酔	2 ③	1			4		1			
	予防医学・行動科学	2 ④	1			5		2			
	老年医学	2 ④	1			3					
	社会医学Ⅰ(医療管理学)	3 ①	1			1					
	社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	3 ①	2			2					
	社会医学Ⅲ(法医学)	3 ①	1			1		1			
	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	3 ①	1			3					
	社会医学Ⅴ(演習)	3 ①	2			4		1	3		
	総合臨床医学	3 ①	11			38	2	5	1		
	臨床診断入門	3 ②	14			22	2	2			
	症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	3 ②	9			8	1				
	総括講義	6 ②	15			9	1				
	臨床実習Ⅰ(基礎)	4 ①②③	40			78	28	24	18		兼8
臨床実習Ⅱ(発展)	5 ①	15			78	27	24	18		兼8	
臨床実習Ⅲ(専門)	5 ②③	25			54	12	14	11		兼2	
臨床実習Ⅳ(実践)	6 ①	10			123	35	34	28		兼10	

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教育効果を考慮して、「医学史」専任教員等の配置を「兼1」から「教授5、准教授1、兼2」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「医療プロフェッショナリズムⅠ（入門）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「医療プロフェッショナリズムⅡ（応用）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「医療プロフェッショナリズムⅢ（発展）」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮して「英字新聞で読む社会学・政治学」の開講学期を「1学期」から「2学期」に変更。
- ・より専門性を考慮し、「国際機関論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「国際医療保健学Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置を「講師6」から「講師4」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「国際医療保健学Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置を「講師5」から「講師4」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「国際医療保健学Ⅲ（発展）」の専任教員等の配置を「講師5」から「講師4」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「国際医療保健学Ⅳ（応用）」の専任教員等の配置を「兼1」から「講師1」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語コミュニケーションA（入門）」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」に変更し、「兼0」から「兼3」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語コミュニケーションB（実践）」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師4」に変更し、「兼0」から「兼3」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「日本語Ⅰ-A（作文）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「日本語Ⅰ-B（文法・語彙）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「日本語Ⅱ-A（作文）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「日本語Ⅱ-B（文法・語彙）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「日本語Ⅱ-C（発表討論）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「日本語Ⅱ-D（専門日本語）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「日本語Ⅲ-A（作文）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「日本語Ⅲ-B（文法・語彙）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「日本語Ⅲ-C（発音・討論）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「日本語Ⅲ-D（専門日本語）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「医療福祉専門漢字」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教員の負荷軽減のため、「医療福祉専門語彙」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼5」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「医学英語」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師2」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「医療入門・正常解剖演習」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2、助教2、兼1」から「教授3、准教授3、講師1、助教1、兼1」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「医療面接・身体診察Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の自己都合により、「医療面接・身体診察Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「基礎医学総論Ⅶ（組織学演習）」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1、助教1、兼1」から「教授2、准教授2、講師1、兼1」に変更。
- ・教育の充実のためなどの理由により、「器官別統合講義Ⅰ（循環器系）」の専任教員等の配置を「教授8、准教授2、講師1」を「教授8、准教授3、講師2」に変更。
- ・教育を充実させるため、「器官別統合講義Ⅱ（呼吸器系）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・職位の変更により「器官別統合講義Ⅲ（消化器系）」の専任教員等の配置を「教授10、准教授3」から「教授9、准教授4」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「器官別統合講義Ⅳ（内分泌代謝系）」の専任教員等の配置を「教授8、准教授1」から「教授6、准教授2」に変更。
- ・職位の変更により「器官別統合講義Ⅴ（腎泌尿器系）」の専任教員等の配置を「教授13、講師1」から「教授12、准教授1、講師1」に変更。
- ・職位の変更により「器官別統合講義Ⅵ（婦人科系(乳腺含む)）」の専任教員等の配置を「教授8、講師1」から「教授7、准教授1、講師1」に変更。
- ・職位の変更により「器官別統合講義Ⅶ（運動器・皮膚・膠原病）」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4、准教授1」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「器官別統合講義Ⅷ（脳神経・精神系）」の専任教員等の配置を「教授9、准教授1」から「教授7、准教授2」に変更。
- ・職位の変更等の理由により、「正常人体解剖実習」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1」に変更。
- ・教員の自己都合により「社会医学Ⅴ（演習）」の専任教員等の配置を「准教授2、助教2」から「准教授1、助教3」に変更。
- ・教員の自己都合に伴う担当者の変更等により、「総合臨床医学」の専任教員等の配置を「教授37、准教授4、講師4、助教1」から「教授38、准教授2、講師5、助教1」に変更。
- ・教育を充実させるため、「臨床診断入門」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・担当教員の自己都合により「症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の自己都合により「総括講義」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授9」に変更。
- ・担当教員の自己都合による担当者の変更により、「臨床実習Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授79、准教授30、講師24、助教20、兼8」から「教授79、准教授29、講師24、助教18、兼8」に変更。
- ・担当教員の自己都合による担当者の変更により、「臨床実習Ⅱ（発展）」の専任教員等の配置を「教授79、准教授29、講師24、助教20、兼8」から「教授79、准教授28、講師24、助教18、兼8」に変更。
- ・担当教員の自己都合による担当者の変更により、「臨床実習Ⅲ（専門）」の専任教員等の配置を「教授60、准教授13、講師14、助教11、兼1」から「教授54、准教授12、講師14、助教11、兼2」に変更。
- ・担当教員の自己都合による担当者の変更により、「臨床実習Ⅳ（実践）」の専任教員等の配置を「教授128、准教授39、講師36、助教30、兼9」から「教授124、准教授36、講師34、助教28、兼10」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の所属の変更により、「英字新聞で読む社会学・政治学」の専任教員等の配置を「教授2、兼1」から「教授1、兼2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英字新聞で読む社会学・政治学」の開講学期を2学期から1学期に変更。
- ・教育の充実のため、「国際医療保健学Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置のうち、「准教授0」を「准教授1」に変更。
- ・教育の充実のため、「国際医療保健学Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置のうち、「教授4、講師4、助教1」を「教授5、講師3、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「国際医療保健学Ⅲ（発展）」の専任教員等の配置を「教授3、講師4、助教1」から「教授4、准教授1、講師4、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「生物学」の専任教員等の配置のうち、「教授1」を「教授4」に変更。
- ・教育の充実のため、「医療化学」の専任教員等の配置について、「講師1」を追加。
- ・教育の充実のため、「英語Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師4、助教1」から「教授3、准教授2、講師6、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「英語Ⅱ（実践）」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師4、助教1」から「教授3、准教授2、講師6、助教1」に変更。
- ・担当教員の交代等により、「英語コミュニケーションA（入門）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師4、兼2」から「教授2、准教授1、講師6、助教1、兼1」に変更。
- ・担当教員の交代等により、「英語コミュニケーションB（実践）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師4、兼2」から「教授2、准教授1、講師6、助教1、兼1」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅰ-A（作文）」の専任教員等の配置を「兼4」から「講師1、兼3」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅰ-B（文法・語彙）」の専任教員等の配置を「兼4」から「講師1、兼3」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅱ-A（作文）」の専任教員等の配置を「兼4」から「講師1、兼3」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅱ-B（文法・語彙）」の専任教員等の配置を「兼4」から「講師1、兼4」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅱ-C（発表討論）」の専任教員等の配置を「兼4」から「講師1、兼3」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅱ-D（専門日本語）」の専任教員等の配置を「兼5」から「講師1、兼4」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅲ-A（作文）」の専任教員等の配置を「兼3」から「講師1、兼2」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅲ-B（文法・語彙）」の専任教員等の配置を「兼3」から「講師1、兼2」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅲ-C（発表・討論）」の専任教員等の配置を「兼3」から「講師1、兼2」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「日本語Ⅲ-D（専門日本語）」の専任教員等の配置を「兼5」から「講師1、兼4」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「医療福祉専門漢字」の専任教員等の配置を「兼4」から「講師1、兼4」に変更。
- ・担当教員の所属の変更により、「医療福祉専門語彙」の専任教員等の配置を「兼5」から「講師1、兼5」に変更。
- ・教育の充実のため、「医学英語」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育の充実のため、「医療入門・正常解剖演習」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師1、助教1、兼1」から「教授11、准教授4、講師1、助教1、兼1」に変更。
- ・教育の充実のため、「医療面接・身体診察Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、助教1」から「教授5、准教授3、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「医療面接・身体診察Ⅱ（応用）」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、助教1」から「教授5、准教授3、講師1、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅰ（生化学）」の専任教員等の配置のうち、「教授1」を「教授3」に変更。（平成30年6月教員審査予定）
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅱ（分子生物学）」の専任教員等の配置に、「講師1」を追加。
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅳ（生理学）」の専任教員等の配置のうち、「教授2」を「教授3」に変更。（平成30年6月教員審査予定）
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅴ（薬理学）」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」を「教授2、講師2」に変更。（平成30年6月教員審査予定）
- ・教育の充実のため、「基礎医学総論Ⅵ（病理学演習）」の専任教員等の配置のうち、「講師2」を「講師3」に、「助教0」を「助教2」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅰ（循環器系）」の専任教員等の配置を「教授8、准教授3、講師2」から「教授9、准教授4、講師2」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅱ（呼吸器系）」の専任教員等の配置を「教授11、准教授2、講師2」から「教授13、准教授3、講師2」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅲ（消化器系）」の専任教員等の配置のうち、「教授9」を「教授10」、「講師7」から「講師6」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅳ（内分泌代謝系）」の専任教員等の配置を「教授6、准教授2」から「教授9、准教授3、講師1、助教1」に変更。（一部について、平成30年3月教員審査提出中）
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅴ（腎泌尿器系）」の専任教員等の配置を「教授12、准教授1、講師1」から「教授14、准教授3、講師2、助教1」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅵ（婦人科系（乳腺含む））」の専任教員等の配置のうち、「教授7」を「教授8」に変更。
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅶ（運動器・皮膚・膠原病）」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1」から「教授6、准教授2、講師2、助教2」に変更。（平成30年6月教員審査予定）
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅷ（脳神経・精神系）」の専任教員等の配置を「教授7、准教授2」から「教授19、准教授2、講師1」に変更。（平成30年6月教員審査予定）
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅷ（感覚器系）」の専任教員等の配置のうち、「教授5」を「教授9」に変更。（平成30年6月教員審査予定）
- ・教育の充実のため、「器官別統合講義Ⅹ（血液系）」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1、講師1」から「教授4、准教授1、講師1」に変更。（平成30年6月教員審査予定）
- ・教育の充実のため、「正常人体解剖実習」の専任教員等の配置のうち、「教授2」を「教授3」、「准教授2」から「准教授3」に変更。（平成30年10月教員審査予定）
- ・教員の負担軽減等のため、「胎児・小児の成長と疾患（成育と臨床）」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授8、准教授1」に変更。（平成30年6月教員審査予定）
- ・教育の充実のため、「腫瘍と臨床（放射線治療・緩和）」の専任教員等の配置を「教授16、講師1」から「教授23、准教授3、講師1」に変更。（一部については、平成30年6月教員審査予定）
- ・教育の充実のため、「感染症」の専任教員等の配置を「教授3、講師1、助教1」から「教授4、准教授1、講師2、助教1」に変更。（一部については、平成30年6月教員審査予定）
- ・教育の充実のため、「救急と集中治療」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師1」から「教授5、准教授3、講師1」に変更。（平成30年6月教員審査予定）
- ・教育の充実のため、「老年医学」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授10」に変更。（平成30年6、10月教員審査予定）
- ・担当教員の自己都合等により、「予防医学・行動科学」の専任教員等の配置を「教授5、講師2」から「教授6、講師1」に変更。
- ・担当教員の自己都合等により、「社会医学Ⅱ（衛生学・公衆衛生学）」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。（後任の補充を検討）
- ・担当教員の自己都合等により、「社会医学Ⅳ（臨床疫学・EBM）」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。（後任の補充を検討）
- ・担当教員の自己都合等により、「社会医学Ⅴ（演習）」の専任教員等の配置を「教授4、講師1、助教3」から「教授3、講師1、助教2」に変更。共同授業であり、担当教員が豊富なため補充は不要。
- ・教育の充実のため、「総合臨床医学」の専任教員等の配置のうち、「教授38」を「教授40」に変更。
- ・教育の充実のため、「臨床診断入門」の専任教員等の配置のうち、「教授22」から「教授23」に変更。
- ・教育の充実のため、「症候と臨床推論（小グループケーススタディ演習）」の専任教員等の配置のうち、「教授8」を「教授9」に変更。
- ・担当教員の自己都合等により、「総括講義」の専任教員等の配置のうち、「教授9」を「教授8」に変更。
- ・教育の充実のため、「臨床実習Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授78、准教授28、講師24、助教18、兼8」から「教授86、准教授37、講師28、助教30、兼5」に変更。（一部については、平成30年3月教員審査提出中）
- ・教育の充実のため、「臨床実習Ⅱ（発展）」の専任教員等の配置を「教授78、准教授27、講師24、助教18、兼8」から「教授88、准教授36、講師28、助教30、兼5」に変更。（一部については、平成30年3月教員審査提出中）
- ・教育の充実のため、「臨床実習Ⅲ（専門）」の専任教員等の配置を「教授54、准教授12、講師14、助教11、兼2」から「教授62、准教授14、講師18、助教19」に変更。（一部については、平成30年3月教員審査提出中）
- ・教育の充実のため、「臨床実習Ⅳ（実践）」の専任教員等の配置を「教授123、准教授35、講師34、助教28、兼10」から「教授136、准教授47、講師43、助教47、兼5」に変更。（一部については、平成30年3月教員審査提出中）

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
24 科目	8 科目	24 科目	56 科目	24 科目 []	9 科目 [1]	29 科目 [5]	62 科目 [6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{56} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考									
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	※大学全体 校舎敷地に国際医療福 祉大学市川病院を追加 (H30.9.1事業継承) (30)									
	校舎敷地	276,538 262,852 m ²	0m ²	0m ²	276,538 262,852 m ²										
	運動場用地	100,751 89,807 m ²	0m ²	0m ²	100,751 89,807 m ²										
	小 計	377,289 351,659 m ²	0m ²	0m ²	377,289 351,659 m ²										
	そ の 他	113,975 m ²	0m ²	0m ²	113,975 m ²										
	合 計	491,264 724,431 m ²	0m ²	0m ²	491,264 724,431 m ²										
(2) 校 舎	専 用	212,896 191,625 m ²	0m ²	0m ²	212,896 191,625 m ²										
	(178,828 157,557 m ²)	(0m ²)	(0m ²)	(178,828 157,557 m ²)											
(3) 教 室 等	講 義 室	205 193 室	演 習 室	186 162 室	実験実習室	316 304 室	情報処理学習施設	23 19 室 (補助 職員 8 6 人)	語学学習施設	10 室 (補助 職員 0 人)					
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		医学部Ⅱ期棟校舎竣工の ため。(30)								
		医学部医学科		300 室											
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	電子ジャーナルの一部 は大学全体で共用。そ の他は医学部(29) 電子ジャーナルは大学全 体で共用。その他は医学 部 外国の電子ジャーナルに ついては継続購読とし た。 視聴覚資料は既製品で なく教員作成のe-learning を活用したため購入品は 本年度もない。(30)							
	医学部	13,500 [3,300] (4,971 [2,792]) (3,206 [2,016]) (10,599 [1,286])	130 [40] (100 [4]) (100 [4]) (90 [20])	6,608 [5,278] 6,608 [5,278] 5,661 [3,223] (6,608 [5,278]) (6,608 [5,278]) (5,661 [3,223])	280 (0) (0) (72)	27,811 (15,589) (5,017) (3,225)	108 (57) (57) (54)								
	計	13,500 [3,300] (4,971 [2,792]) (3,206 [2,016]) (10,599 [1,286])	130 [40] (100 [4]) (100 [4]) (90 [20])	6,608 [5,278] 6,608 [5,278] 5,661 [3,223] (6,608 [5,278]) (6,608 [5,278]) (5,661 [3,223])	280 (0) (0) (72)	27,811 (15,589) (5,017) (3,225)	108 (57) (57) (54)								
	(6) 図 書 館		面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数									
			8,564 7,756 m ²	1,853 1,653 席		367,360 340,000 冊									
(7) 体 育 館		面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要												
		7,465 6,675 m ²	弓道場		テニスコート										

(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度の経費について寄贈品等の費用分を修正。(30) 図書購入費については、第2年次の電子ジャーナルの選定に時間がかかり予定を下回った。(30) 設備購入費については計画通り。(30)
		教員1人当り研究費等	800千円	800千円	図書購入費	934千円 574千円 0千円	87,228千円 100,000千円	100,000千円	
		共同研究費等	40,000千円	50,000千円	設備購入費	573,137千円 511,276千円 540,525千円	1,468,759千円 1,896,315千円	50,000千円	
学生1人当り 納付金	第1年次 4,500千円	第2年次 2,800千円	第3年次 2,800千円	第4年次 2,800千円	第5年次 2,800千円	第6年次 2,800千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定 学員	編入学員 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
医学部						1.00		
医学科	6	140	-	840	学士 (医学)	1.00	平成29年度	千葉県成田市公津の杜4 丁目3番
保健医療学部						1.04		
看護学科	4	115	-	460	学士 (看護学)	1.04	平成7年度	栃木県大田原市北金丸 2600番1
理学療法学科	4	100	-	400	学士 (理学療法 学)	1.04	平成7年度	同上
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法 学)	1.03	平成7年度	同上
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚 学)	1.03	平成7年度	同上
視機能療法学科	4	50	-	200	学士 (視機能療法 学)	1.05	平成14年度	同上
放射線 ・情報科学科	4	120	-	480	学士 (放射線・情報 科学)	1.04	平成7年度	同上
医療福祉学部						1.00		
医療福祉・マシ ント学科	4	140	-	570	学士 (医療福祉 学) 学士 (医療マシ ント学)	1.00	平成9年度	同上
薬学部						1.08		
薬学科	6	180	-	1080	学士 (薬学)	1.08	平成18年度	同上
小田原保健医療学部						1.07		
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.07	平成18年度	神奈川県小田原市城山一 丁目2番25号
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.07	平成18年度	同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.09	平成18年度	同上
福岡看護学部						1.09		
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09	平成20年度	福岡市早良区百道浜1-7- 4
福岡保健医療学部						1.09		
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.08	平成17年度	同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.07	平成17年度	同上
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚 学)	1.09	平成19年度	同上

医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.09	平成25年度	同上
成田看護学部						1.08		
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.08	平成28年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番
成田保健医療学部						1.07		
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.09	平成28年度	同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法学)	1.06	平成28年度	同上
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚学)	1.04	平成28年度	同上
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査学)	1.07	平成28年度	同上
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部						1.02		
心理学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.15	平成30年度	東京都港区赤坂4丁目1-26
医療マネジメント ト学科	4	60	-	240	学士 (医療マネジメント学)	0.90	平成30年度	
医療福祉学研究所 修士課程						1.46		
保健医療学専攻	2	100	-	200	修士 (保健医療学)	1.69	平成11年度	栃木県大田原市北金丸2600番1
					修士 (看護学)			
					修士 (助産学)			
					修士 (言語聴覚学)			
					修士 (生殖補助医療学)			
					修士 (医療福祉教育・管理学)			
					修士 (臨床検査学)			
医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (医療福祉学)	1.26	平成13年度	同上
					修士 (診療情報管理学)			
					修士 (医療ビジネス経営学)			
					修士 (医療福祉管理学)			
					修士 (介護福祉・ケアマネジメント学)			
					修士 (医療福祉ジャーナリズム学)			

臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	1.00	平成19年度	同上	
医療福祉学研究科 博士課程						1.38			
保健医療学専攻	3	50	-	150	博士 (保健医療学)	1.38	平成13年度	同上	
					博士 (看護学)				
					博士 (助産学)				
					博士 (言語聴覚学)				
					博士 (生殖補助医療学)				
					博士 (臨床検査学)				
					博士 (医療福祉経営学)				
					博士 (医療福祉学)				
					博士 (診療情報管理学)				
					博士 (介護福祉・ケアマネジメント学)				
					博士 (臨床心理学)				
					博士 (医療福祉ジャーナリズム学)				
薬科学研究科 修士課程						0.20			
生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.20	平成22年度	同上	
薬学研究科 博士課程						0.50			
医療・生命薬学専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.50	平成24年度	同上	
医学研究科 修士課程						1.40			
公衆衛生学専攻	2	10	-	20	修士 (公衆衛生学)	1.40	平成30年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番	
医学研究科 博士課程						1.25			
医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.25	平成30年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医学部 医学科>

(1)-① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	教授 (学部長)	北村 聖 (62) 平成29年4月	北村 聖 (62) 平成29年4月	北村 聖 (63) 平成29年4月		
		医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 海外医療体験	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 海外医療体験 医学史	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 海外医療体験 医学史 医療入門・正常解剖演習		
専任	教授	天野 隆弘 (73) 平成29年4月	天野 隆弘 (73) 平成29年4月	天野 隆弘 (74) 平成29年4月		
		医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医学史	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医学史		
専任	教授	吉田 素文 (54) 平成29年4月	吉田 素文 (54) 平成29年4月	吉田 素文 (55) 平成29年4月		
		医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 海外医療体験 関連職種連携実習 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 海外医療体験 関連職種連携実習 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 海外医療体験 関連職種連携実習 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		
専任	教授	赤津 晴子 (55) 平成29年4月	赤津 晴子 (56) 平成29年4月	赤津 晴子 (56) 平成29年4月		
		英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 医学英語 医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 医学英語 医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	英語Ⅰ(入門) 英語Ⅱ(応用) 医学英語 医療入門・正常解剖演習 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)		
専任	教授	岡本 秀彦 (42) 平成29年4月	岡本 秀彦 (42) 平成29年4月	岡本 秀彦 (43) 平成29年4月		
		基礎医学総論Ⅳ(生理学)	基礎医学総論Ⅳ(生理学)	基礎医学総論Ⅳ(生理学) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 生物学		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	龍野(池田) 啓子 (54) 平成29年4月	専	教授	龍野(池田) 啓子 (54) 平成29年4月	専	教授	龍野(池田) 啓子 (55) 平成29年4月	専	教授	龍野(池田) 啓子 (55) 平成29年4月	専	教授	龍野(池田) 啓子 (55) 平成29年4月
		生物学 医療生物学 基礎医学総論Ⅳ(生理学) 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅳ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅴ(婦人科系(乳腺含む))			生物学 医療生物学 基礎医学総論Ⅳ(生理学) 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅳ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅴ(婦人科系(乳腺含む))			生物学 医療生物学 基礎医学総論Ⅳ(生理学) 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅳ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅴ(婦人科系(乳腺含む))						
専	教授	後藤 純信 (55) 平成29年4月	専	教授	後藤 純信 (55) 平成29年4月	専	教授	後藤 純信 (56) 平成29年4月	専	教授	後藤 純信 (56) 平成29年4月	専	教授	後藤 純信 (56) 平成29年4月
		器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)			器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)			器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)						
専	教授	北川 元生 (55) 平成29年4月	専	教授	北川 元生 (55) 平成29年4月	専	教授	北川 元生 (56) 平成29年4月	専	教授	北川 元生 (56) 平成29年4月	専	教授	北川 元生 (56) 平成29年4月
		医療化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学)			医療化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学)			医療化学 基礎医学総論Ⅰ(生化学)						
専	教授	小堀 浩幸 (52) 平成29年4月	専	教授	小堀 浩幸 (52) 平成29年4月	専	教授	小堀 浩幸 (53) 平成29年4月	専	教授	小堀 浩幸 (53) 平成29年4月	専	教授	小堀 浩幸 (53) 平成29年4月
		基礎医学総論Ⅴ(薬理学) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)			基礎医学総論Ⅴ(薬理学) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)			基礎医学総論Ⅴ(薬理学) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)						
専	教授	森田 林平 (48) 平成29年4月	専	教授	森田 林平 (48) 平成29年4月	専	教授	森田 林平 (49) 平成29年4月	専	教授	森田 林平 (49) 平成29年4月	専	教授	森田 林平 (49) 平成29年4月
		基礎医学総論Ⅲ(免疫学) 医学史 生物学			基礎医学総論Ⅲ(免疫学) 医学史 生物学			基礎医学総論Ⅲ(免疫学) 医学史 生物学						
専	教授	西村 渉 (49) 平成29年4月	専	教授	西村 渉 (49) 平成29年4月	専	教授	西村 渉 (50) 平成29年4月	専	教授	西村 渉 (50) 平成29年4月	専	教授	西村 渉 (50) 平成29年4月
		基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)			基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)			基礎医学総論Ⅱ(分子生物学) 生物学						
専	教授	小阪 淳 (52) 平成29年4月	専	教授	小阪 淳 (52) 平成29年4月	専	教授	小阪 淳 (53) 平成29年4月	専	教授	小阪 淳 (53) 平成29年4月	専	教授	小阪 淳 (53) 平成29年4月
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅰ(組織学) 基礎医学総論Ⅱ(組織学演習) 発生・出産 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 正常人体解剖実習			医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅰ(組織学) 基礎医学総論Ⅱ(組織学演習) 発生・出産 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 正常人体解剖実習			医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅰ(組織学) 基礎医学総論Ⅱ(組織学演習) 発生・出産 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 正常人体解剖実習						
専	教授	森 泰文 (46) 平成29年4月	専	教授	森 泰文 (46) 平成29年4月	専	教授	森 泰文 (47) 平成29年4月	専	教授	森 泰文 (47) 平成29年4月	専	教授	森 泰文 (47) 平成29年4月
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅰ(組織学) 基礎医学総論Ⅱ(組織学演習) 発生・出産 正常人体解剖実習			医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅰ(組織学) 基礎医学総論Ⅱ(組織学演習) 発生・出産 正常人体解剖実習			医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論Ⅰ(組織学) 基礎医学総論Ⅱ(組織学演習) 発生・出産 正常人体解剖実習						
専	教授	富田 裕彦 (55) 平成29年4月	専	教授	富田 裕彦 (55) 平成29年4月	専	教授	富田 裕彦 (56) 平成29年4月	専	教授	富田 裕彦 (56) 平成29年4月	専	教授	富田 裕彦 (56) 平成29年4月
		基礎医学総論Ⅲ(病理学) 基礎医学総論Ⅸ(病理学演習) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)			基礎医学総論Ⅲ(病理学) 基礎医学総論Ⅸ(病理学演習) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和)			基礎医学総論Ⅲ(病理学) 基礎医学総論Ⅸ(病理学演習) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	福澤 龍二 (53) 平成29年4月	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	専	教授	福澤 龍二 (53) 平成29年4月	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)	専	教授	福澤 龍二 (54) 平成29年4月	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)				
専	教授	潮見 隆之 (44) 平成29年4月	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習)	専	教授	潮見 隆之 (44) 平成29年4月	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習)	専	教授	潮見 隆之 (45) 平成29年4月	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)				
専	教授	高橋 芳久 (45) 平成29年4月	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習)	専	教授	高橋 芳久 (45) 平成29年4月	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習)	専	教授	高橋 芳久 (46) 平成29年4月	基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系)				
専	教授	森 一郎 (65) 平成29年4月	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習) 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	専	教授	森 一郎 (65) 平成29年4月	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習) 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)	専	教授	森 一郎 (66) 平成29年4月	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論Ⅶ(病理学) 基礎医学総論Ⅷ(病理学演習) 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 器官別統合講義Ⅰ(循環器系)				
専	教授	矢島 大介 (48) 平成29年4月	社会医学Ⅲ(法医学) 社会医学Ⅴ(演習)	専	教授	矢島 大介 (48) 平成29年10月	社会医学Ⅲ(法医学) 社会医学Ⅴ(演習)	専	教授	矢島 大介 (49) 平成29年10月	社会医学Ⅲ(法医学) 社会医学Ⅴ(演習)				
専	教授	松本 哲哉 (54) 平成30年4月	感染症 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 総合臨床医学	専	教授	松本 哲哉 (54) 平成30年4月	感染症 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 総合臨床医学	専	教授	松本 哲哉 (55) 平成30年4月	感染症 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 総合臨床医学				
専	教授	加藤 康幸 (47) 平成30年4月	感染症 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 総合臨床医学 総括講義	専	教授	加藤 康幸 (47) 平成29年9月	感染症 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 総合臨床医学 総括講義	専	教授	加藤 康幸 (48) 平成30年1月	感染症 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 総合臨床医学 総括講義				
専	教授	池田 俊也 (54) 平成29年4月	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 予防医学・行動科学 社会医学Ⅰ(医療管理学) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学) 社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM) 社会医学Ⅴ(演習) 総括講義	専	教授	池田 俊也 (54) 平成29年4月	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 予防医学・行動科学 社会医学Ⅰ(医療管理学) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学) 社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM) 社会医学Ⅴ(演習) 総括講義	専	教授	池田 俊也 (55) 平成29年4月	国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅱ(応用) 予防医学・行動科学 社会医学Ⅰ(医療管理学) 社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学) 社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM) 社会医学Ⅴ(演習) 総括講義				

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	教授	矢野(五味)晴美 (49) 平成30年4月	矢野(五味)晴美 (49) 平成30年4月	矢野(五味)晴美 (50) 平成30年4月			
		医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 感染症 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅶ(婦人科系(乳腺含む)) 感染症 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳腺含む)) 感染症 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
兼任	講師	矢野(五味)晴美 (49) 平成29年4月	矢野(五味)晴美 (49) 平成29年4月				
		医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)				
専任	教授	桜井 亮太 (47) 平成29年4月	桜井 亮太 (47) 平成29年4月	桜井 亮太 (48) 平成29年4月			
		社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM) 社会医学Ⅴ(演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM) 社会医学Ⅴ(演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM) 社会医学Ⅴ(演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専任	教授	石川 和信 (55) 平成29年4月	石川 和信 (55) 平成29年4月	石川 和信 (56) 平成29年4月			
		器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 救急と集中治療 麻酔 臨床診断入門	器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 救急と集中治療 麻酔 臨床診断入門	器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 救急と集中治療 麻酔 臨床診断入門 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 医療入門・正常解剖演習			
専任	教授	清水 伸幸 (52) 平成29年4月	清水 伸幸 (52) 平成29年4月	清水 伸幸 (53) 平成29年4月			
		医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 総合臨床医学 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 総合臨床医学 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 総合臨床医学 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	宮田 哲郎 (62) 平成29年4月	専	教授	宮田 哲郎 (62) 平成29年4月	専	教授	宮田 哲郎 (63) 平成29年4月	専	教授	宮田 哲郎 (63) 平成29年4月	専	教授	
		医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナル リズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナル リズムⅢ(発展) 器官別統合講義Ⅲ(消化 器系) 総合臨床医学 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グ ループケーススタディ 演習) 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナル リズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナル リズムⅢ(発展) 器官別統合講義Ⅲ(消化 器系) 総合臨床医学 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グ ループケーススタディ 演習) 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			医療プロフェッショナル リズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナル リズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナル リズムⅢ(発展) 器官別統合講義Ⅲ(消化 器系) 総合臨床医学 臨床診断入門 症候と臨床推論(小グ ループケーススタディ 演習) 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	教授	内田 恵博 (62) 平成29年4月	専	教授	内田 恵博 (62) 平成29年4月	専	教授	内田 恵博 (63) 平成29年4月	専	教授	内田 恵博 (63) 平成29年4月	専	教授	
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	教授	桂 研一郎 (57) 平成29年4月	専	教授	桂 研一郎 (57) 平成29年4月	専	教授	桂 研一郎 (58) 平成29年4月	専	教授	桂 研一郎 (58) 平成29年4月	専	教授	
		器官別統合講義Ⅵ(脳神 経・精神系) 予防医学・行動科学 総合臨床医学 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅵ(脳神 経・精神系) 予防医学・行動科学 総合臨床医学 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅵ(脳神 経・精神系) 予防医学・行動科学 総合臨床医学 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	教授	上野 俊昭 (52) 平成29年4月	専	教授		専	教授		専	教授		専	教授	
		器官別統合講義Ⅵ(脳神 経・精神系) 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)												
専	教授	桃井 麗里子 (69) 平成29年4月	専	教授		専	教授		専	教授		専	教授	
		関連職種連携実習												
専	教授	北川 道弘 (69) 平成29年4月	専	教授	北川 道弘 (69) 平成32年4月	専	教授	北川 道弘 (70) 平成32年4月	専	教授	北川 道弘 (70) 平成32年4月	専	教授	
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	教授	佐伯 直勝 (66) 平成29年4月	専	教授	佐伯 直勝 (66) 平成29年4月	専	教授	佐伯 直勝 (67) 平成29年4月	専	教授	佐伯 直勝 (67) 平成29年4月	専	教授	
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	教授	山崎 力 (61) 平成32年4月	専	教授	山崎 力 (61) 平成32年4月	専	教授	山崎 力 (62) 平成30年4月	専	教授	山崎 力 (62) 平成30年4月	専	教授	
		予防医学・行動科学			予防医学・行動科学			予防医学・行動科学						
専	教授	川上 和久 (59) 平成29年4月	専	教授	川上 和久 (59) 平成29年4月	兼任	教授	川上 和久 (60) 平成29年4月	兼任	教授	川上 和久 (60) 平成29年4月	兼任	教授	
		英字新聞で読む社会 学・政治学			英字新聞で読む社会 学・政治学			英字新聞で読む社会 学・政治学						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	織谷 健司 (57) 平成30年4月	専	教授	織谷 健司 (57) 平成29年4月	専	教授	織谷 健司 (58) 平成29年4月			
		器官別統合講義Ⅹ(血液系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅹ(血液系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅹ(血液系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	教授	樋口 肇 (51) 平成29年4月	専	教授	樋口 肇 (51) 平成29年4月	専	教授	樋口 肇 (52) 平成29年4月			
		器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床診断入門 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床診断入門 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床診断入門 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	教授	石黒 洋 (50) 平成29年4月	専	教授	石黒 洋 (50) 平成29年7月	専	教授	石黒 洋 (51) 平成29年7月			
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	教授	村井 弘之 (54) 平成29年4月	専	教授	村井 弘之 (54) 平成29年4月	専	教授	村井 弘之 (55) 平成29年4月			
		器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系) 臨床診断入門 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系) 臨床診断入門 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系) 臨床診断入門 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	教授	内山 智之 (50) 平成30年4月	専	教授	内山 智之 (50) 平成30年4月	専	教授	内山 智之 (51) 平成30年4月			
		器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	教授	赤松 直輝 (54) 平成29年4月	専	教授	赤松 直輝 (54) 平成29年4月	専	教授	赤松 直輝 (55) 平成29年4月			
		器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	教授	永山 正雄 (58) 平成29年4月	専	教授	永山 正雄 (58) 平成29年4月	専	教授	永山 正雄 (59) 平成29年4月			
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	教授	内海 裕也 (64) 平成29年4月	専	教授	内海 裕也 (64) 平成29年4月	専	教授	内海 裕也 (65) 平成29年4月			
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	教授	加藤 幸之 (61) 平成29年4月	専	教授	加藤 幸之 (61) 平成29年4月	専	教授	加藤 幸之 (62) 平成29年4月			
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	教授	岡 幸和 (57) 平成29年4月	専	教授	岡 幸和 (57) 平成29年4月	専	教授	岡 幸和 (58) 平成29年4月			
		総合臨床医学 総括講義 臨床実習Ⅳ(実践)			総合臨床医学 総括講義 臨床実習Ⅳ(実践)			総合臨床医学 総括講義 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	教授	中里 道子 (52) 平成29年4月	専	教授	中里 道子 (52) 平成29年4月	専	教授	中里 道子 (53) 平成29年4月			
		器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 予防医学・行動科学 総合臨床医学 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 予防医学・行動科学 総合臨床医学 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 胎児・小児の成長と疾患(成育と臨床) 予防医学・行動科学 総合臨床医学 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
				兼任	講師	平佐美 真一 (62) 平成30年4月	器官別統合講義Ⅰ(感覚器系) 老年医学 総合臨床医学 臨床診断入門								
				兼任	講師	平佐美 真一 (63) 平成30年4月	器官別統合講義Ⅰ(感覚器系) 老年医学 総合臨床医学 臨床診断入門								
専	教授	野口 佳裕 (53) 平成29年4月	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	野口 佳裕 (53) 平成29年4月	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	野口 佳裕 (54) 平成29年4月	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				
専	教授	岡野 光博 (52) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅰ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	岡野 光博 (52) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅰ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	岡野 光博 (53) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅰ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				
専	教授	今西 順久 (50) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅰ(感覚器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	今西 順久 (50) 平成30年4月	器官別統合講義Ⅰ(感覚器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	今西 順久 (51) 平成31年4月	器官別統合講義Ⅰ(感覚器系) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				
専	教授	渡邊 雄介 (51) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅰ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	渡邊 雄介 (51) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅰ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	渡邊 雄介 (52) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅰ(感覚器系) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				
専	教授	岩崎 聡 (56) 平成29年4月	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	岩崎 聡 (56) 平成29年4月	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	岩崎 聡 (57) 平成29年4月	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				
専	教授	菅谷 誠 (46) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅵ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	菅谷 誠 (46) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅵ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	菅谷 誠 (47) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅵ(運動器・皮膚・膠原病) 腫瘍と臨床(放射線治療・緩和) 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				
専	教授	松崎 恭一 (54) 平成29年4月	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	松崎 恭一 (54) 平成29年4月	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	松崎 恭一 (55) 平成29年4月	総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				
専	教授	小坂 正明 (58) 平成29年4月	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)												
専	教授	倉橋 清泰 (54) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 麻酔 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	倉橋 清泰 (54) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 麻酔 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 医学史	専	教授	倉橋 清泰 (55) 平成29年4月	器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 麻酔 総合臨床医学 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践) 医学史				
専	教授	花崎 元彦 (50) 平成29年4月	総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	花崎 元彦 (50) 平成29年4月	総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	教授	花崎 元彦 (51) 平成29年4月	総合臨床医学 麻酔 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	三浦 弘規 (54) 平成29年4月	専	教授	三浦 弘規 (54) 平成29年4月	専	教授	三浦 弘規 (55) 平成29年4月						
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	教授	志賀 俊哉 (50) 平成29年4月	専	教授	志賀 俊哉 (50) 平成29年4月	専	教授	志賀 俊哉 (51) 平成29年4月						
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	教授	小黒 恵司 (58) 平成29年4月	専	教授	小黒 恵司 (58) 平成29年4月	専	教授	小黒 恵司 (59) 平成29年4月						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	教授	横川 徳彦 (55) 平成29年4月												
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)												
専	教授	戸矢 和仁 (51) 平成29年4月	専	教授	戸矢 和仁 (51) 平成29年4月	専	教授	戸矢 和仁 (52) 平成29年4月						
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	教授	高橋 和郎 (61) 平成29年4月	専	教授	高橋 和郎 (61) 平成29年4月	専	教授	高橋 和郎 (62) 平成29年4月						
		臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
			専	教授	奥仲 哲弥 (58) 平成32年4月	専	教授	奥仲 哲弥 (59) 平成29年9月						
					器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)			器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)						
			兼任	講師	奥仲 哲弥 (58) 平成29年4月									
					器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)									
			専	教授	山下 浩二 (58) 平成29年7月	専	教授	山下 浩二 (59) 平成29年10月						
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	教授	中尾 睦宏 (50) 平成30年3月						
								予防医学・行動科学						
						専	教授	辻 省次 (66) 平成30年2月						
								器官別統合講義Ⅳ(脳神経・精神系)						
						専	教授	菅野 洋 (62) 平成30年2月						
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	教授	唐仁原 全 (61) 平成30年2月						
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	教授	加藤 正人 (61) 平成30年1月						
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	栗田 康生 (47) 平成29年4月	専	准教授	栗田 康生 (47) 平成29年4月	専	准教授	栗田 康生 (48) 平成29年4月						
		器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎)			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎)			器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床診断入門 総括講義 臨床実習Ⅰ(基礎)						
専	准教授	田邊 裕貴 (48) 平成29年4月												
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)												
			専	教授	村田 一素 (55) 平成29年4月	専	教授	村田 一素 (56) 平成29年4月						
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	准教授	片岡 幹統 (45) 平成29年4月	専	准教授	片岡 幹統 (45) 平成29年4月	専	准教授	片岡 幹統 (46) 平成29年4月						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	准教授	長友 祐司 (41) 平成29年4月												
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)												
			専	教授	福田 浩二 (48) 平成29年7月	専	准教授	福田 浩二 (49) 平成29年10月						
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	教授	北林 耐 (60) 平成30年7月						
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	教授	山内 意史 (61) 平成30年7月						
								器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	教授	品 清彦 (64) 平成30年1月						
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	教授	小林 幸夫 (60) 平成29年10月						
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	教授	北 嘉昭 (57) 平成29年10月						
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	教授	有山 淳 (53) 平成29年10月						
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	准教授	福見 茂信 (46) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	福見 茂信 (46) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	福見 茂信 (47) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	准教授	保田 壮一郎 (49) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	保田 壮一郎 (49) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	保田 壮一郎 (50) 平成29年10月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	准教授	田村 雄一 (38) 平成29年4月 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	田村 雄一 (38) 平成29年4月 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	田村 雄一 (39) 平成29年4月 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	准教授	武田 守彦 (47) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	武田 守彦 (47) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	武田 守彦 (48) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	准教授	(Tae-hwa Chun) 全 泰和(49) 平成29年4月 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	(Tae-hwa Chun) 全 泰和(49) 平成30年4月 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	(Tae-hwa Chun) 全 泰和(49) 平成31年4月 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						兼任	講師	(Tae-hwa Chun) 全 泰和(49) 平成30年4月 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)						
専	准教授	吉田 知彦 (45) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	吉田 知彦 (45) 平成32年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	吉田 知彦 (46) 平成30年4月 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	准教授	大和田 千桂子 (43) 平成29年4月 器官別統合講義Ⅹ(血液系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	大和田 千桂子 (43) 平成32年4月 器官別統合講義Ⅹ(血液系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	大和田 千桂子 (44) 平成32年4月 器官別統合講義Ⅹ(血液系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						兼任	講師	大和田 千桂子 (44) 平成30年4月 器官別統合講義Ⅹ(血液系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	准教授	林 信太郎 (47) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	林 信太郎 (47) 平成29年8月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	准教授	吉内 裕雄 (41) 平成29年4月 臨床実習Ⅳ(実践)									
			専	講師	山田 祐 (43) 平成29年7月 臨床実習Ⅳ(実践)	専	助教	山田 祐 (44) 平成30年2月 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	准教授	橋本 佐 (41) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	橋本 佐 (41) 平成32年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	橋本 佐 (42) 平成32年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
						兼任	講師	橋本 佐 (42) 平成30年9月 器官別統合講義Ⅲ(脳神経・精神系)			
専	准教授	星本 相淳 (46) 平成29年4月 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	星本 相淳 (46) 平成30年4月 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	星本 相淳 (47) 平成30年4月 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	准教授	大山 隆史 (42) 平成30年4月 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	大山 隆史 (42) 平成30年4月 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	大山 隆史 (43) 平成30年4月 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	准教授	鍋田 雅士 (41) 平成30年4月 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	鍋田 雅士 (41) 平成30年4月 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	鍋田 雅士 (42) 平成32年4月 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
						兼任	講師	鍋田 雅士 (42) 平成30年4月 器官別統合講義Ⅲ(消化器系)			
専	准教授	鳥飼 展 (45) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)									
			専	講師	吉岡 大輔 (39) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	講師	吉岡 大輔 (39) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			
専	准教授	左村 和宏 (41) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)	専	准教授	左村 和宏 (41) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)	専	准教授	左村 和宏 (42) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)			
専	准教授	木原 真紀 (46) 平成29年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	木原 真紀 (46) 平成32年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)	専	准教授	木原 真紀 (47) 平成32年4月 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	林 省吾 (41) 平成29年4月	専	准教授	林 省吾 (41) 平成29年4月	専	准教授	林 省吾 (42) 平成29年4月						
		医療入門・正常解剖演習 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論ⅤⅡ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)			医療入門・正常解剖演習 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論ⅤⅡ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 医学史			医療入門・正常解剖演習 医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 基礎医学総論ⅤⅡ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅶ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 医学史						
専	准教授	足立 雅之 (44) 平成29年4月	専	准教授	足立 雅之 (44) 平成32年4月	専	准教授	足立 雅之 (45) 平成32年4月						
		医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門) 医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用) 医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展) 医療面接・身体診察Ⅰ(入門) 医療面接・身体診察Ⅱ(応用) 総合臨床医学 症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習) 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	准教授	志賀 隆 (41) 平成30年4月	専	准教授	志賀 隆 (41) 平成29年7月	専	准教授	志賀 隆 (42) 平成29年7月						
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 救急と集中治療 総合臨床医学 臨床診断入門 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 救急と集中治療 総合臨床医学 臨床診断入門 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)			器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 救急と集中治療 総合臨床医学 臨床診断入門 臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
兼任	講師	志賀 隆 (40) 平成29年4月												
		器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)												
専	准教授	内藤 雄一郎 (45) 平成29年4月												
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)												
専	准教授	鳥嶋 利奈 (41) 平成29年9月	専	准教授	鳥嶋 利奈 (41) 平成29年9月	専	准教授	鳥嶋 利奈 (42) 平成29年8月						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
専	准教授	川岸 久太郎 (45) 平成29年4月	専	准教授	川岸 久太郎 (45) 平成29年4月	専	准教授	川岸 久太郎 (46) 平成29年4月						
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論ⅤⅡ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳癌含む)) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習			医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論ⅤⅡ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳癌含む)) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習			医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論ⅤⅡ(組織学演習) 器官別統合講義Ⅰ(循環器系) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系) 器官別統合講義Ⅲ(消化器系) 器官別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系) 器官別統合講義Ⅵ(婦人科系(乳癌含む)) 器官別統合講義Ⅶ(運動器・皮膚・膠原病) 器官別統合講義Ⅷ(脳神経・精神系) 正常人体解剖実習						
専	准教授	遠藤 史郎 (45) 平成29年7月	専	准教授	遠藤 史郎 (45) 平成29年7月	専	准教授	遠藤 史郎 (46) 平成29年10月						
		感染症 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			感染症 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			感染症 臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	講師	林 真理子 (48) 平成29年4月	基礎医学総論V (薬理学)	専	講師	林 真理子 (49) 平成29年4月	基礎医学総論V (薬理学)	専	講師	林 真理子 (49) 平成29年4月	基礎医学総論V (薬理学)				
専	講師	湯澤 聰 (46) 平成29年4月	基礎医学総論I (生化学)	専	講師	湯澤 聰 (45) 平成29年4月	基礎医学総論I (生化学)	専	講師	湯澤 聰 (47) 平成29年4月	基礎医学総論I (生化学)				
専	講師	Do Nguyen-Van (52) 平成29年4月	基礎医学総論VII (病理学) 基礎医学総論IX (病理学演習)	専	講師	Do Nguyen-Van (52) 平成32年4月	基礎医学総論VII (病理学) 基礎医学総論IX (病理学演習)	専	講師	Do Nguyen-Van (53) 平成32年4月	基礎医学総論VII (病理学) 基礎医学総論IX (病理学演習)				
専	講師	本村 あゆみ (38) 平成30年4月	社会医学III (法医学) 社会医学V (演習)	専	講師	本村 あゆみ (38) 平成30年4月	社会医学III (法医学) 社会医学V (演習)	専	講師	本村 あゆみ (39) 平成30年5月	社会医学III (法医学) 社会医学V (演習)				
専	講師	Htar Htar Soe (43) 平成29年4月	国際医療保健学I (入門) 社会医学V (演習)												
専	講師	Than Soe Lin (44) 平成29年4月	国際医療保健学I (入門) 国際医療保健学II (応用) 国際医療保健学III (発展) 予防医学・行動科学	専	講師	Than Soe Lin (44) 平成29年4月	国際医療保健学I (入門) 国際医療保健学II (応用) 国際医療保健学III (発展) 予防医学・行動科学								
専	講師	Purevdorj B. Oikhanud (38) 平成29年4月	国際医療保健学I (入門) 国際医療保健学II (応用) 国際医療保健学III (発展) 予防医学・行動科学	専	講師	Purevdorj B. Oikhanud (38) 平成29年9月	国際医療保健学I (入門) 国際医療保健学II (応用) 国際医療保健学III (発展) 予防医学・行動科学	専	講師	Purevdorj B. Oikhanud (39) 平成32年4月	国際医療保健学I (入門) 国際医療保健学II (応用) 国際医療保健学III (発展) 予防医学・行動科学				
専	講師	Ariuntuul Garidkhuu (48) 平成30年4月	国際医療保健学I (入門) 国際医療保健学II (応用) 国際医療保健学III (発展)	専	講師	Ariuntuul Garidkhuu (48) 平成30年4月	国際医療保健学I (入門) 国際医療保健学II (応用) 国際医療保健学III (発展)	専	講師	Ariuntuul Garidkhuu (49) 平成31年4月	国際医療保健学I (入門) 国際医療保健学II (応用) 国際医療保健学III (発展)				
専	講師	Nguyen Duy Phong (48) 平成29年4月	国際医療保健学I (入門) 国際医療保健学II (応用) 国際医療保健学III (発展)												
専	講師	Hsiao-Lin Huang (44) 平成29年4月	国際医療保健学I (入門) 国際医療保健学II (応用) 国際医療保健学III (発展)	専	講師	Hsiao-Lin Huang (44) 平成32年4月	国際医療保健学I (入門) 国際医療保健学II (応用) 国際医療保健学III (発展)	専	講師	Hsiao-Lin Huang (45) 平成30年4月	国際医療保健学I (入門) 国際医療保健学II (応用) 国際医療保健学III (発展)				
専	講師	Aung Thiha (39) 平成32年4月	基礎医学総論VIII (病理学) 基礎医学総論IX (病理学演習)	専	講師	Aung Thiha (39) 平成32年4月	基礎医学総論VIII (病理学) 基礎医学総論IX (病理学演習)	専	講師	Aung Thiha (40) 平成32年4月	基礎医学総論VIII (病理学) 基礎医学総論IX (病理学演習)				
専	講師	Myint Thazin Aung (39) 平成32年4月	感染症	専	講師	Myint Thazin Aung (39) 平成32年4月	感染症	専	講師	Myint Thazin Aung (40) 平成32年4月	感染症				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			専	講師	吉岡 史隆 (37) 平成29年7月									
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)									
専	講師	河村 陽一郎 (35) 平成29年4月	専	講師	河村 陽一郎 (35) 平成32年4月		専	講師	河村 陽一郎 (36) 平成32年4月					
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)					
			専	講師	稲島 司 (41) 平成30年4月		専	講師	稲島 司 (42) 平成32年4月					
					臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)				臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)					
			専	講師	細谷 幸司 (47) 平成30年4月		専	講師	細谷 幸司 (48) 平成30年8月					
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)				臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)					
			専	講師	吉岡 広陽 (42) 平成29年4月		専	講師	吉岡 広陽 (43) 平成29年4月					
					医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論ⅤⅡ(組織学演習) 正常人体解剖実習				医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論ⅤⅡ(組織学演習) 正常人体解剖実習					
							専	講師	地引 政利 (55) 平成30年2月					
									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)					
							専	講師	黒木 聖子 (50) 平成30年2月					
									臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)					
							専	講師	服部 知洋 (49) 平成30年2月					
									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)					
							専	講師	小川 朋子 (49) 平成30年2月					
									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)					
							専	講師	安積 貴年 (46) 平成30年2月					
									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)					
							専	講師	渡辺 浩史 (47) 平成30年2月					
									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)					
							専	講師	別所 雅彦 (45) 平成30年2月					
									臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)					
							専	講師	古山 桂太郎 (44) 平成30年2月					
									臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)					
							専	講師	Muzembo Basilia Andre (44) 平成30年4月					
									国際医療保健学Ⅰ(入門) 国際医療保健学Ⅲ(発展)					
							専	講師	坪井 優 (42) 平成30年2月					
									臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)					

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	Gu Rui 顾蕊(37) 平成29年4月	専	助教	Gu Rui 顾蕊(37) 平成32年4月	専	助教	Gu Rui 顾蕊(38) 平成30年4月						
		臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅳ(実践)						
専	助教	柳裕代 (49) 平成29年4月	専	助教	柳裕代 (49) 平成29年4月									
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)									
専	助教	鈴木知子 (56) 平成29年4月	専	助教	鈴木知子 (56) 平成29年4月	専	助教	鈴木知子 (57) 平成29年4月						
		社会医学Ⅴ(演習)			社会医学Ⅴ(演習)			社会医学Ⅴ(演習)						
			専	助教	葛西貴広 (34) 平成29年9月	専	助教	葛西貴広 (35) 平成29年8月						
					臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 留曹別院合調機Ⅴ(腎泌尿器系)						
			専	助教	Hasan Arif Ul (40) 平成29年4月	専	助教	Hasan Arif Ul (41) 平成29年4月						
			専	助教	Rahman Md Asadur (33) 平成29年4月	専	助教	Rahman Md Asadur (34) 平成29年4月						
						専	助教	佐藤可野 (38) 平成30年7月						
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	助教	中島理奈 (32) 平成30年7月						
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	助教	木村聖美 (52) 平成30年2月						
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	助教	佐野美智子 (48) 平成30年2月						
								海外医療体験						
						専	助教	上原櫻紀子 (43) 平成30年2月						
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	助教	福留潤 (41) 平成30年2月						
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
						専	助教	村上文祥 (41) 平成30年2月						
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)						
						専	助教	杉崎顯史 (41) 平成30年2月						
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					小川 明子 (39) 平成30年2月	専任	助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
					橋田 瑠美子 (40) 平成30年2月	専任	助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
					関 広幸 (36) 平成30年2月	専任	助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
					高橋 茜 (36) 平成30年2月	専任	助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
					齊藤 大樹 (36) 平成30年2月	専任	助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
					上田 竜大 (36) 平成30年2月	専任	助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
					榮 利昌 (36) 平成30年2月	専任	助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
					磯貝 宣広 (35) 平成30年2月	専任	助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
					高橋(笠島) 芽子 (35) 平成30年2月	専任	助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
					柘植 俊介 (35) 平成30年2月	専任	助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
					三浦 俊介 (33) 平成30年2月	専任	助教	臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
					今井 俊一 (32) 平成30年2月	専任	助教	臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
					中太 淳平 (32) 平成30年2月	専任	助教							
					山崎 薫子 (31) 平成30年2月	専任	助教	海外医療体験						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								細沼 薫 (30) 平成30年2月						
								臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展)						
								Darimaa Ganbat (33) 平成30年3月						
								基礎医学総論Ⅱ(病理学 演習)						
								Byambatsuren Jambaljav(37) 平成30年4月						
								器官別統合講義Ⅳ(内分 泌代謝系)						
								武藤(森村) 真由子 (32) 平成30年3月						
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
								横 徳剛 (39) 平成30年4月						
								臨床実習Ⅲ(専門) 臨床実習Ⅳ(実践)						
								松岡 亮介 (41) 平成30年7月						
								基礎医学総論Ⅱ(病理学 演習)						
兼任	教授 副学長	松谷 有希雄 (67) 平成29年4月	兼任	教授 副学長	松谷 有希雄 (67) 平成29年4月	兼任	教授 副学長	松谷 有希雄 (68) 平成29年4月						
		社会保障と医療制度			社会保障と医療制度			社会保障と医療制度						
兼任	教授	中村 秀一 (68) 平成29年4月	兼任	教授	中村 秀一 (68) 平成29年4月	兼任	教授	中村 秀一 (69) 平成29年4月						
		社会保障と医療制度			社会保障と医療制度			社会保障と医療制度						
兼任	教授	坪倉 繁美 (64) 平成32年4月	兼任	教授	坪倉 繁美 (64) 平成32年4月	兼任	教授	坪倉 繁美 (65) 平成32年4月						
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						
兼任	教授	久保 晃 (56) 平成32年4月	兼任	教授	久保 晃 (56) 平成32年4月	兼任	教授	久保 晃 (57) 平成32年4月						
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						
兼任	教授	谷口 敬道 (51) 平成32年4月	兼任	教授	谷口 敬道 (51) 平成32年4月	兼任	教授	谷口 敬道 (52) 平成32年4月						
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						
兼任	教授	畔上 森彦 (58) 平成32年4月	兼任	教授	畔上 森彦 (58) 平成32年4月	兼任	教授	畔上 森彦 (59) 平成32年4月						
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						
兼任	教授	新井田 孝裕 (58) 平成32年4月	兼任	教授	新井田 孝裕 (58) 平成32年4月	兼任	教授	新井田 孝裕 (59) 平成32年4月						
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						
兼任	教授	勝俣 健一郎 (66) 平成32年4月	兼任	教授	勝俣 健一郎 (66) 平成32年4月	兼任	教授	勝俣 健一郎 (67) 平成32年4月						
		関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク			関連職種連携ワーク						

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	稲田 朋夏 (42) 平成29年4月	専	講師	稲田 朋夏 (43) 平成30年2月						
					日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙						
			兼任	講師	品川 なぎさ (45) 平成29年4月	兼任	講師	品川 なぎさ (46) 平成29年4月						
					日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙						
			兼任	助教	山元 一晃 (32) 平成29年4月	兼任	助教	山元 一晃 (33) 平成29年4月						
					日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙						
			兼任	助教	加藤 林太郎 (36) 平成29年4月	兼任	助教	加藤 林太郎 (37) 平成29年4月						
					日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙			日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表討論) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙						
兼任	教授	松野 雅晴 (51) 平成29年4月	兼任	教授	松野 雅晴 (51) 平成29年4月	兼任	教授	松野 雅晴 (52) 平成29年4月						
		医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論ⅤⅡ(組織学演習) 正常人体解剖実習			医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論ⅤⅡ(組織学演習) 正常人体解剖実習			医療入門・正常解剖演習 基礎医学総論ⅤⅡ(組織学演習) 正常人体解剖実習						
兼任	教授	高見澤 聡 (53) 平成29年4月	兼任	教授	高見澤 聡 (53) 平成29年4月	兼任	教授	高見澤 聡 (54) 平成29年4月						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						
兼任	教授	望月 太一 (54) 平成29年4月	兼任	教授	望月 太一 (54) 平成29年4月	専任	准教授	望月 太一 (55) 平成30年2月						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践) 器官別統合講義Ⅱ(呼吸器系)						
兼任	教授	延山 隼一(HYEON SEONIL)(玄隼一)(53) 平成29年4月	兼任	教授	延山 隼一(HYEON SEONIL)(玄隼一)(53) 平成29年4月	兼任	教授	延山 隼一(HYEON SEONIL)(玄隼一)(54) 平成29年4月						
		臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)			臨床実習Ⅰ(基礎) 臨床実習Ⅱ(発展) 臨床実習Ⅳ(実践)						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>		専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>		専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>		専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
				兼任	講師	Buck Eric Carson (32) 平成29年4月		兼任	講師	Buck Eric Carson (33) 平成29年4月					
						英語コミュニケーションA(入門) 英語コミュニケーションB(実践)				光山(酒井) 奈保子 (50) 平成30年4月					
				兼担	准教授	経済成長をめぐる世界の諸問題									

平成29年度の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ①担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・現勤務先における業務都合のため、矢島大介准教授の就任時期が平成29年4月より平成29年10月に遅延。
- ・加藤幸教授の就任時期が平成30年4月から平成29年9月に前倒し。
- ・自己都合により、上野俊昭教授が退職。「器管別統合講義Ⅴ(脳神経・精神系)」は河島雅到教授との共同授業であるため、特に後任の措置はとらない。「総括講義」の担当を桂研一郎教授に変更。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、桃井真里子教授が就任辞退。担当は大和田倫孝教授に変更予定。(開講前年度の平成31年度に教員審査を受審予定。)
- ・現勤務先における業務都合のため、北川謙弘教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、佐伯直勝教授の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、西澤俊宏教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、竹田秀教授が就任辞退。「器管別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)」は全泰和准教授との共同授業であるため、特に後任の措置はとらない。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、竹中恒夫教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。器管別統合講義Ⅴ(腎泌尿器系)は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、石黒洋教授の就任時期が平成29年4月より平成29年7月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、岡田唯男教授が就任辞退。当該実習科目2科目は教授3、講師1、助教1の体制であり、補充はしなくても教育上支障はないと考える。
- ・現勤務先における業務都合のため、瀧本康史教授の就任時期が平成29年4月より平成29年7月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、市丸直嗣教授が就任辞退。後任に小野澤瑞樹准教授を充てる。平成29年3月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、中村俊康教授の就任時期が平成29年4月より平成33年4月に遅延。
- ・自己都合により、眞島仁史教授が就任辞退。担当は高橋謙治教授に変更。平成29年1月教員審査済み。
- ・河村和弘教授の就任時期が平成31年4月から平成30年4月に前倒し。
- ・自己都合により松田義雄教授が就任辞退。当該実習科目3科目は教授4、准教授2、助教2の体制であり、補充はしなくても教育上支障はないと考える。
- ・現勤務先における業務都合のため、田井智彦教授の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、布山裕一教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、宇佐美真一教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。「器管別統合講義Ⅱ(感覚器系)」、「老年医学」、「総合臨床医学」及び「臨床診断入門」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、今西順久教授の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・自己都合により、小坂正明教授が就任辞退。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、石崎寛教授の就任時期が平成31年4月より平成32年4月に遅延。
- ・自己都合により、堀武生教授が就任辞退。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、横川徳造教授が就任辞退。臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、Imran Raza Jawaid准教授の就任時期が平成29年4月より平成29年5月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、田邊裕貴准教授が就任辞退。後任に村田一孝教授を充てる。平成29年1月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、長友裕司准教授が就任辞退。後任に福田浩二教授を充てる。平成29年4月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、全泰和准教授の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉田知彦准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、大和田千桂子准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。「器管別統合講義Ⅷ(血液系)」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、林進太郎准教授の就任時期が平成29年4月より平成29年8月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、宮内裕隆准教授が就任辞退。後任に山田祐講師を充てる。平成29年3月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、橋本佐准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、船橋隆准教授が就任辞退。後任に吉岡大輔講師を充てる。平成29年12月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、木原真紀准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、茂木英明准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、北尻真一郎准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、宮垣朝光准教授が就任辞退。後任に森村志志講師を充てる。「総合臨床医学」の担当については今後教員審査受審予定。
- ・現勤務先における業務都合のため、大原博敏准教授の就任時期が平成33年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、中村京太准教授が就任辞退。後任に馬場晴子准教授を充てる。平成28年12月教員審査済み。
- ・自己都合により、加藤容二准教授が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、鈴木伸彦准教授が就任辞退。
- ・現勤務先における業務都合により、足立雅之准教授の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。また、一部科目について担当者変更し、「総合臨床医学」についてはオムニバス担当6回分を高寺智教授が担当する。平成30年度中に教員審査受審予定。「医療プロフェッショナルリズムⅠ(入門)」、「医療プロフェッショナルリズムⅡ(応用)」、「医療プロフェッショナルリズムⅢ(発展)」、「臨床面接・身体診察Ⅰ(入門)」、「臨床面接・身体診察Ⅱ(応用)」及び「症候と臨床推論(小グループケーススタディ演習)」の6科目は、いずれもグループ学習を行う共同授業科目であり、医学教育統括センター所属教員でカバーすることで対応する。よって後任の補充は特に待たなくても教育上の支障はないと考える。
- ・志賀隆准教授の就任時期が平成30年4月から平成29年7月に前倒し。このため、「器管別統合講義Ⅱ(呼吸器系)」は専任教員として担当する。
- ・自己都合のため、内藤雄一准教授が就任辞退。後任に鳥巢利雅准教授を充てる。平成29年3月教員審査済み。
- ・川岸久太郎准教授が平成29年4月兼任。平成28年10月教員審査済み。
- ・遠藤史郎准教授が平成29年7月兼任。平成29年3月教員審査済み。
- ・井上翠講師が職位変更で准教授に。平成28年11月教員審査済み。
- ・教育効果を考慮し、化学に湯澤聡講師を追加。平成28年11月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、Do Nguyen-Van講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、Htar Htar Soe講師が就任辞退。なお担当科目は全て共同科目であり、グループワーク指導であるため、他の教員で補うことが可能であり、後任の補充は不要と考える。
- ・現勤務先における業務都合のため、Purovdorj B. Olkhanud講師の就任時期が平成29年4月より平成29年9月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、Hsiiao-Lin Huang講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。なお担当科目は全て共同科目であり、グループワーク指導であるため、他の教員で補うことが可能であり、教育上の支障はないと考える。
- ・自己都合により、Butterfield JeffrieLeigh講師が就任辞退。後任に井之川陸美講師及び早坂祐介講師を充てる。いずれも平成29年1月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、確井真吾講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、西山信大講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、大西俊一郎講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉村怜講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、松瀬大講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、澤本良子講師が就任辞退。今後公募予定。
- ・現勤務先における業務都合のため、木村大講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、川島宏裕講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、上原孝紀講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、長谷川康講師の就任時期が平成29年4月より平成31年4月に遅延。「器管別統合講義Ⅲ(消化器系)」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、菊池弘人講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、中島崇裕講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、鈴木秀海講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、若宮富浩講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、高峰講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、原日智章講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、宮川麻衣子講師が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉村兼義講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、島津正博講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、高橋洋講師の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。「器管別統合講義Ⅱ(呼吸器系)」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、Chiung-MenKuo講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・自己都合により、手塚修一講師が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合のため、川又電講師が就任辞退。今後公募予定。
- ・自己都合のため、増瀬達夫講師が就任辞退。医学部の教育に対しては病院勤務医師の兼任准教授として携わる。
- ・現勤務先における業務都合のため、酒井元講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。「総合臨床医学」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、吉原一文講師が就任辞退。今後公募予定。
- ・現勤務先における業務都合のため、古川智一講師が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、柳原裕講師の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、緒方教之講師が就任辞退。後任に吉岡史陸講師を充てる。平成29年4月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、河村陽一講師の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、稻島司講師の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。平成28年11月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、菅田陽太講師が就任辞退。後任に吉岡広陽講師を充てる。平成29年1月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、Teessod Rattao Ariunaa助教の就任時期が平成29年4月より平成31年4月に遅延。なお担当科目は全て共同科目であり、グループワーク指導であるため、他の教員で補うことが可能であり、教育上の支障はないと考える。

- ・現勤務先における業務都合のため、Pham Duy Tai助教の就任時期が平成29年4月より平成29年7月に遅延。なお担当科目は全て共同科目であり、グループワーク指導であるため、他の教員で補うことが可能であり、教育上の支障はないと考える。
- ・現勤務先における業務都合のため、鈴木健一助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、高柳智助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、細田豊助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、岡本宗史助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、劉軒助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、中山政憲助教の就任時期が平成29年4月より平成30年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、真崎輔助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、河原井麗正助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、木内智喜助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、樫田大樹助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、桑原大輔助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、That Pa Win助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、瀬川知助教が就任辞退。後任に市京智子講師を充てる。平成29年1月教員審査済み。
- ・現勤務先における業務都合のため、金子真也助教が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、西尾信哉助教の就任時期が平成31年4月より平成32年4月に遅延。「基礎医学総論Ⅱ(分子生物学)」は就任前は兼任として担当する。
- ・現勤務先における業務都合のため、徳永聡助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、郡隆輔助教が就任辞退。担当する臨床実習については、担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先における業務都合のため、黒木亮太助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、黒木愛助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・現勤務先における業務都合のため、? 助教の就任時期が平成29年4月より平成32年4月に遅延。
- ・鈴木知子助教が平成29年4月着任。平成28年11月教員審査済み。
- ・萬西貴広助教が平成29年4月着任。平成28年11月教員審査済み。
- ・Hasan Arif Ul助教が平成29年4月着任。平成29年1月教員審査済み。
- ・Rahman Md Asadur助教が平成29年4月着任。平成29年1月教員審査済み。
- ・医学史の授業内容を精神科医の立場から補強するため、兼任で鹿島晴雄教授が担当。
- ・教育効果を考慮し、「国際機関論」を兼任で等々力勝任教授が担当。
- ・清宮正徳准教授(兼任)の負担軽減のため、「化学」の担当に湯澤聰講師に交代。
- ・茅野正雄講師(兼任)の負担軽減のため、福田朋見講師(兼任)、品川なぎさ講師(兼任)、山元一晃講師(兼任)、加藤林太郎講師(兼任)が日本語科目を追加。
- ・「現代日本考~政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ~」を科目として追加したことにより、兼任で木村伊量特任教授が担当。
- ・現勤務先における業務都合のため、Bauer-Lars Frank Wilhelm Achim兼任講師の就任辞退。後任に東風谷太一兼任講師を充てる。
- ・現勤務先における業務都合のため、岡野賢二兼任講師の担当科目の一部を、大澤幸子兼任講師が担当する。
- ・清水英里兼任講師が自己都合により就任辞退。後任に小川有子兼任講師を充てる。
- ・村上大介兼任講師が本学在籍となったため、職位等を変更。
- ・英語教員の負担軽減のため、英語コミュニケーションA・Bの担当教員に、Vivek Paul 兼任講師、Christopher Thompson Litten 兼任講師、Buck Eric 兼任講師を追加。

【平成30年度】

- ・自己都合により宮本幸一教授が退職。
- ・勤務先との調整により、山崎力教授の就任が前倒しとなり、平成30年4月となった。
- ・赤坂心医 医療福祉マネジメント学部の専任教員となるため、川上和久教授が異動。なお、担当する「英字新聞で読む社会学・政治学」は兼任として対応する。
- ・現勤務先との調整により、西邊俊宏教授の就任時期が前倒しとなり、平成31年4月となった。
- ・現勤務先との調整により、竹中恒夫教授の就任時期が前倒しとなり、平成29年9月となった。
- ・自己都合により朝本俊司教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先との調整により、中村俊康教授の就任時期が前倒しとなり、平成28年10月となった。
- ・現勤務先との調整により、布山裕一教授の就任時期が前倒しとなり、平成29年10月となった。
- ・現勤務先の業務都合により、今西順久教授の就任時期が平成30年4月から平成31年4月に遅延した。
- ・現勤務先との調整により、石崎憲教授の就任時期が前倒しとなり、平成31年4月となった。
- ・現勤務先との調整により、奥仲留弥教授の就任時期が前倒しとなり、平成29年9月となった。
- ・平成30年3月、中尾隆定教授就任。平成29年12月教員審査済み。
- ・平成30年2月、辻省次教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、菅野洋教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、唐仁原全教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、吉田雅博教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年1月、加藤正人教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、安心院 康彦教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、須田康文教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年1月、金澤文治教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年4月、和田雅治教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成29年10月、福田浩二准教授就任。平成29年8月教員審査済み。
- ・平成30年7月、北林耐教授就任。平成30年3月教員審査申請中。
- ・平成30年7月、山内恵史教授就任。平成30年3月教員審査申請中。
- ・平成30年1月、島清彦教授就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・平成29年10月、小林幸夫教授就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・平成29年10月、北嘉昭教授就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・平成29年10月、有山淳教授就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・平成29年10月、石原聡一郎教授就任。平成29年6月教員審査済み。
- ・平成30年4月、岡本英輝教授就任。平成29年9月教員審査済み。
- ・自己都合により白石尚基教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により児玉桂一教授が辞退。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先の都合により、全泰和准教授の着任時期が平成30年4月から平成31年3月に遅延した。器管別統合講義Ⅳ(内分泌代謝系)は兼任として講義する。
- ・自己都合により、林信太郎准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先の都合により、藤田雅士准教授の就任が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。
- ・自己都合により、井岡崇准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、栗田英治准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、石川雅之准教授が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、Than Soe Lin講師が退職。担当科目は担当教員が充実しており、また共同授業のため、十分にカバーが可能であり、後任措置はとらない。
- ・現勤務先との調整により、Hsio-Lin Huang講師の就任時期が前倒しとなり、平成30年4月に前倒しとなった。
- ・平成30年2月、山根雅樹准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、一瀬雅典准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、笹生豊准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、和田雅文准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、藤井正一准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、中川俊介准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、白井博之准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年4月、Ngatu Nlandu Roger 准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、本合成淳准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、矢嶋淳准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年4月、高岡栄一郎准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年2月、門田行史准教授就任。平成29年10月教員審査済み。
- ・平成30年7月、齋藤輔准教授就任。平成30年3月教員審査申請中。
- ・平成30年7月、松岡亮介助教就任。平成30年3月教員審査申請中。

- ・現勤務先の都合により、Ariuntuuf Garidkhuu講師の就任が平成30年4月から平成31年4月に遅延した。
- ・現勤務先の都合により、平野佑樹講師の就任が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。
- ・現勤務先の都合により、眞柳修平講師が就任辞退。後任の配置を予定している。
- ・現勤務先の都合により、菊池私人講師が就任辞退。後任の配置を予定している。
- ・現勤務先との調整により、鳥海雅博講師の就任時期が前倒しとなり、平成30年4月に前倒しとなった。
- ・現勤務先の都合により、高橋渉の兼任時期が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。器官別統合講義Ⅲ（消化器系）は兼任として講義する。
- ・自己都合により、吉岡史隆講師が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先の都合により、稲島司講師の就任が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。
- ・現勤務先の都合により、細谷幸司講師の就任が平成30年4月から平成30年8月に遅延した。
- ・現勤務先の都合により、森清人助教の就任が平成30年4月から平成32年4月に遅延した。
- ・平成30年2月、地引政利講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、黒木聖子講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、恩部知洋講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、小川朋子講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、安積貴年講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、渡辺浩史講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、別所雅彦講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、古山桂太郎講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年4月、Muzembo Basilia Andre講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、坪井優講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、稲田朋美講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年4月、MOLAUHILIN MATTHEW JAMES講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年3月、Munkhtuya Tumurkhuu講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年3月、Edenetsogt Dumbat講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年4月、田中真生講師就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年3月、DEHAVEN, SHAWN MICHAEL講師就任。平成29年12月教員審査済。
- ・平成30年3月、Kazi Selim Anwar講師就任。平成29年12月教員審査済。
- ・自己都合により、山口つ子助教が就任辞退。担当科目は共同授業であり、多数の教員が配置されているので後任措置はとらない。
- ・自己都合により、Pham Duy Tai助教が就任辞退により、後任に佐野美智子助教に交代。平成29年10月教員審査済。
- ・自己都合により、鎌見有紀助教が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・自己都合により、河合徹助教が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・現勤務先の都合により、養紅助教の就任年月がH30年4月からH31年4月に遅延。
- ・現勤務先の都合により、岡本宗史助教の就任年月がH30年4月からH32年4月に遅延。
- ・現勤務先の都合により、山田純子助教が就任年月がH29年4月からH32年4月に遅延。
- ・勤務先との調整の結果、西尾信哉助教の着任がH32年4月からH31年4月に前倒しとなった。
- ・自己都合により、柳裕代助教が退職。担当科目は実習であり担当教員多数のため、後任措置はとらない。
- ・平成30年7月、佐藤可野助教就任。平成30年3月教員審査申請中。
- ・平成30年7月、中島理奈助教就任。平成30年3月教員審査申請中。
- ・平成30年2月、木村聖美助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、上原燈紀子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、福留潤助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、村上文祥助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、杉崎颯史助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、小川明子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、梅田和敬助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、関広幸助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、高橋晋助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、齊藤大樹助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、上田竜大助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、榮利昌助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、佐野美智子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、吉永勝助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、磯貝直広助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、高橋（笠島）芽子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、拓権俊介助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、三浦俊介助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、今井俊一助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、中太平洋助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、山崎薫子助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年2月、柿沼薫助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年3月、Darima Garbat助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年4月、Byambatsuren Jambaljay助教就任。平成29年10月教員審査済。
- ・平成30年3月、武藤（森村）真由子助教就任。平成29年12月教員審査済。
- ・現勤務先の都合により、高峰講師が就任辞退。交代として平成30年3月、橋本剛助教就任。平成29年12月教員審査済。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等
(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
160	80
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
156	49	57	45	307	158	46	41	48	293	165	58	68	70	361
(147)	(44)	(49)	(37)	(277)						[9]	[9]	[11]	[25]	[54]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 - ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を卒業済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	8 名	37 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{361}{307} = \boxed{117.58} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{8}{293} = \boxed{2.73} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由
1	教授	上野 俊昭	必修	器官別統合講義Ⅶ (脳神経・精神系)	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
			必修	総括講義	①	
			必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
			必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
2	教授	桃井 真理子	自由	関連職種連携実習	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
3	教授	竹田 秀	必修	器官別統合講義Ⅳ (内分泌代謝系)	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
			必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
4	教授	岡田 唯男	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
5	教授	市丸 直嗣	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
6	教授	眞島 任史	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
7	教授	松田 義雄	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
8	教授	小坂 正明	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
9	教授	堀 武生	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
10	教授	横川 徳造	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
			必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
11	准教授	田邊 裕貴	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
12	准教授	長友 祐司	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
13	准教授	吉内 裕絵	必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
14	准教授	鳥飼 慶	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
15	准教授	宮垣 朝光	必修	総合臨床医学	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
			必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
16	准教授	中村 京太	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
17	准教授	加藤 容二郎	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	就任辞退：自己都合による就任辞退(29)
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
18	准教授	鈴木 伸嘉	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
19	准教授	内藤 雄一郎	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
20	講師	Htar Htar Soe	必修	国際医療保健学Ⅰ (入門)	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
			必修	社会医学Ⅴ(演習)	①	
21	講師	Nguyen Duy Phong	必修	国際医療保健学Ⅰ (入門)	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
			必修	国際医療保健学Ⅱ (応用)	①	
			必修	国際医療保健学Ⅲ (発展)	①	
22	講師	Butterfield, Jeffrie Leigh	必修	英語Ⅰ(入門)	①	就任辞退：自己都合による就任辞退(29)
			必修	英語Ⅱ(応用)	①	
			自由	英語コミュニケーションA(入門)	①	
			自由	英語コミュニケーションB(実践)	①	
			必修	医学英語	①	

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
23	講師	澤本 良子	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
24	講師	宮川 麻衣子	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
25	講師	手塚 修一	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
			必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	③	
26	講師	川又 竜	必修	臨床実習Ⅱ（発展）	③	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	
27	講師	吉原 一文	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
28	講師	古川 智一	必修	臨床実習Ⅳ（実践）	③	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
29	講師	増淵 達夫	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	②	就任辞退：自己都合による就任辞退(29)
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	②	
30	講師	緒方 敏之	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
31	助教	菅田 陽太	必修	医療入門・正常解剖演習	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
			必修	基礎医学総論Ⅶ（組織学演習）	①	
			必修	正常人体解剖実習	①	
32	助教	郡 隆輔	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	就任辞退：現勤務先における業務都合のため(29)
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
33	助教	瀬川 知	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
34	助教	金子 真也	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(29)
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
35	教授	児玉 桂一	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(30)
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
37	講師	眞柳 修平	必修	器官別統合講義Ⅲ（消化器系）	①	就任辞退：現勤務先の都合のため(30)
			必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
36	講師	菊池 弘人	必修	器官別統合講義Ⅲ（消化器系）	①	就任辞退：現勤務先の都合のため(30)
			必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
37	講師	高峰	必修	臨床実習Ⅲ（専門）	①	就任辞退：現勤務先の都合のため(30)
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	
38	講師	CHEN CHIH-YU	必修	国際医療保健学Ⅰ（入門）	①	就任辞退：自己都合による就任辞退(30)
			必修	国際医療保健学Ⅱ（応用）	①	
			必修	国際医療保健学Ⅲ（発展）	①	
39	講師	森原 啓文	必修	医学英語	①	就任辞退：自己都合による就任辞退(30)
			必修	英語Ⅰ（入門）	①	
			必修	英語Ⅱ（応用）	①	
			自由	英語コミュニケーションA（入門）	①	
			自由	英語コミュニケーションB（実践）	①	
			必修	医療面接・身体診察Ⅰ（入門）	①	
			必修	医療面接・身体診察Ⅱ（応用）	①	
			必修	症候と臨床推論（小グループケーススタディ演習）	①	
40	助教	山口 るつ子	必修	社会医学Ⅴ（演習）	①	就任辞退：自己都合による就任辞退(30)
41	助教	Pham Duy Tai	自由	海外医療体験	①	就任辞退：自己都合による就任辞退(30)
42	助教	後藤 理人	必修	臨床実習Ⅰ（基礎）	①	就任辞退：附属病院を自己都合退職したため(30)
			必修	臨床実習Ⅱ（発展）	①	
			必修	臨床実習Ⅳ（実践）	①	

合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
42 人	必修	22 科目	必修	22 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	4 科目	自由	4 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	26 科目	計	26 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	朝本 俊司	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	自己都合退職したため(30)
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
2	准教授	林 信太郎	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	自己都合退職したため(30)
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
3	准教授	井岡 崇	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	自己都合退職したため(30)
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
4	准教授	栗田 英治	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	自己都合退職したため(30)
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
5	准教授	石川 雅之	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	自己都合退職したため(30)
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
6	講師	Than Soe Lin	必修	国際医療保健学Ⅰ(入門)	①	自己都合退職したため(30)
			必修	国際医療保健学Ⅱ(応用)	①	
			必修	国際医療保健学Ⅲ(発展)	①	
			必修	予防医学・行動科学	①	
7	講師	柳 裕代	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	自己都合退職したため(30)
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
8	助教	諫見 有紀	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	自己都合退職したため(30)
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
9	助教	河合 徹	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	自己都合退職したため(30)
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
10	講師	吉岡 史隆	必修	臨床実習Ⅰ(基礎)	①	自己都合退職したため(30)
			必修	臨床実習Ⅱ(発展)	①	
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
11	教授	白石 尚基	必修	臨床実習Ⅲ(専門)	①	自己都合退職したため(30)
			必修	臨床実習Ⅳ(実践)	①	
12	教授	川上 和久	自由	英字新聞で読む社会学・政治学	②	赤坂心理・医療福祉マネジメント学部の専任教員に就任のため(30)
13	教授	宮木 幸一	必修	国際医療保健学Ⅰ(入門)	①	自己都合退職したため(30)
			必修	社会医学Ⅱ(衛生学・公衆衛生学)	①	
			必修	社会医学Ⅳ(臨床疫学・EBM)	①	
			必修	社会医学Ⅴ(演習)	①	
			必修	総括講義	①	

合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
13	人	必修	12 科目	必修	12 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	1 科目	自由	0 科目	自由	1 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	12 科目	計	1 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
55	人	必修	34 科目	必修	34 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	5 科目	自由	4 科目	自由	1 科目	自由	0 科目
		計	39 科目	計	38 科目	計	1 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{55}{307} = \boxed{17.91} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

ほとんどの科目が次年度以降の開講であり、また、担当者の補充も専任教員として確保の上で進めており、順調であるため、特に周知の必要はないと考えている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	<p>「臨床実習Ⅳ」の国内での実習については、学生の希望に応じた診療科への配属がなされるよう可能な限り配慮すること。また、海外での実習については、実習先が提供するプログラムの内容や指導体制について、実習調整ディレクターが中心となってあらかじめ調整し、教育の質を確保した上で実施すること。なお、海外での実習先はアジア諸国を中心に調整が進められているが、欧米諸国をはじめとしたより多様な実習先を確保するよう引き続き調整し、学生により多くの選択肢を提供することが望ましい。</p>	<p>選択制の臨床実習となる「臨床実習Ⅳ」については、学生の希望に応じた配属ができるよう、学生が提出した希望順位に応じて割り付けを行う予定である。受け入れ先としては、平成32年に成田市に開院予定の附属病院も含めた5つの本学附属病院、および臨床実習の受け入れ意思を既に表明している本学の臨床医学研究センター・グループ外の医療機関等だけでなく、さらに受け入れ先の拡大に努め、十分な枠を確保したいと考えている。このうち附属病院等については、平成29年度から臨床実習受け入れについて打ち合わせを始めることについて、平成29年4月末に開催した第1回医学部教授連絡会議で附属病院等で勤務する教授に伝えたとところである。今後の予定としては、平成29年度中に各附属病院等との打ち合わせを開始し、平成31年度中に、平成32年度から始まる臨床実習のプログラムを決定する計画である。</p> <p>平成34年度に始まる「臨床実習Ⅳ」の海外臨床実習については、申請時に受け入れの意思表示済み一部の大学医学部等について、平成29年度留学生特別選抜のため現地を訪問した際、先方の連絡担当者を決定した。欧米諸国については、麻酔科に日本の大学医学部から6年生の臨床実習の受け入れ実績があるドイツの医学部において、担当の准教授に受け入れ意思があることを確認した。さらに米国の複数の医学部において、臨床実習への学生受け入れについて調査を行った。今後の予定として、申請時に受け入れの意思表示済みの大学医学部等については、平成29年度の「海外医療体験」の引率を兼ねた現地訪問の際に打ち合わせを開始し、プログラムについて検討を開始するとともに、実習調整ディレクター等の人員配置を行う。今後、新たに開拓する海外臨床実習の受け入れ先については、平成30年度には調査を終了、先方の担当者との打ち合わせを開始し、平成31年度にはMOUを締結した上で実習プログラムの検討を開始し、平成32年度中に実習プログラムを決定、平成33年度に学生の希望調査を行う計画である。(29)</p>	<p>未履行</p> <p>(次頁へつづく)</p>

留意事項

未履行

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p style="text-align: center;">留意事項</p>	<p>まず、米国の複数の医学部における臨床実習への学生受け入れ調査の結果、AAMC（米国医科大学協会）が運営する交換留学プログラム参加の前提として、世界医学教育連盟（WFME：World Federation for Medical Education）と国際医学教育研究推進財団（FAIMER：Foundation for Advancement of International Medical Education and Research）が連携して運営している「世界医学部一覧（World Directory of Medical Schools）」への登録を申請し平成30年1月に登録された（https://search.wdoms.org/home/SchoolDetail/F0005055）。</p> <p>次に、申請時に受け入れの意思表示済みの大学医学部等について、平成29年度の「海外医療体験」の引率を兼ねた現地訪問の際に準備を開始するとしていた点については、本授業科目が他キャンパスとの合同授業のため、海外臨床実習準備担当の教員を派遣できなかった。しかし、平成29年8月にマレーシアからマネジメント&サイエンス大学の幹部一行が来校した際に、相手方の臨床実習担当教員（副学部長）を特定し、平成30年4月に開催した国際医学教育シンポジウムの際にも、該当する大学の学長達との懇談で、海外臨床実習の準備を開始することを確認した。一方、実習調整ディレクター等の人事配置については、医学教育統括センターに海外臨床実習の準備を担当するFocus Groupを設置し多くの外国人教員を配置した。</p> <p>さらに、今後、新たに開拓する海外臨床実習の受け入れ先について、平成31年度にMOUを締結するとしていた点については、ニュージーランドのオタゴ大学（平成29年4月）、ロシアのモスクワ第一大学（平成29年10月）、フィンランドのヘルシンキ大学（平成30年2月）、ポーランドのプロツワフ医科大学（平成30年3月）等の欧米諸国をはじめとした機関との間でMOUを締結し、学生により多くの選択肢を提供できるよう、より多様な実習先を確保できるよう調整を行っている。</p> <p>以上、平成29年度に記載した計画は概ね予定どおりに履行しており、さらに一部では予定を上回る履行状況となっている。(30)</p>	<p>(前頁からのつづき)</p> <p>平成29年度「履行状況」に記載したとおりである。</p> <p style="text-align: center;">未履行</p>

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p>人体の生理機能を理解するためにシミュレータを利用すると説明しているが、生物実験を体験したことのない学生であっても基礎医学に関する知識や技能を十分に修得できるように、生理学、生化学及び分子生物学など、基礎医学に関する実習を充実すること。</p>	<p>すでに1年次1学期における生物学において、生物学未履修者を中心とした学生に対して、顕微鏡を用いた鶏胚の発生の観察を行った。また、1年次2学期には必修の基礎医学総論の5科目で様々な実習を導入予定である。例えば、生化学では生細胞から溶解液を調整し、比色法を用いてタンパク質の定量とさらに酵素活性の定量をおこなう。この過程を通じ、生化学の基本的な手技を習得するとともに、標準曲線の作成、酵素の誘導や特異的発現の観察を通じて対照実験について学ぶ。分子生物学では生体組織からの核酸の抽出、増幅、同定という一連の作業を体験する。この過程でピペットの使い方から核酸の調整法、酵素の取り扱い方、PCR法、ゲル電気泳動など分子生物学の基礎的な手技を習得する。免疫学ではEnzyme-Linked ImmunoSorbent Assay (ELISA) を用いてサイトカイン濃度を測定すると共に抗体の抗原特異性を観察する。(29)</p> <p>計画通りに実施した。来年度以降も引き続き実施予定である。(30)</p>	<p>履行済</p>

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p>全ての留学生が将来母国のリーダーとして活躍できるよう、母国の政府機関等の推薦を受けていない私費留学生も含め、卒後の進路についての支援体制を充実すること。</p>	<p>母国の政府機関等の推薦を踏まえ本学が奨学金を支給する留学生(平成29年度はベトナム、モンゴル、インドネシア、ミャンマー、カンボジアの5か国計13人)及び私費の留学生(平成29年度は韓国、中国、台湾、ミャンマー、米国の5か国・地域計7人)の全ての留学生が本学医学部を卒業後、将来的に母国において医療貢献を行い、ひいては指導者として活躍することができるよう組織的な支援を行っていく。例として、在学中6年次に必修として全員が履修・参加する「海外臨床実習」を通じた本学留学生と母国等の医療機関との橋渡しや、本学が有する海外大学・医療機関等のネットワークを用いて、卒業後に医師としてのキャリア形成ができるようキャリア学習や帰国支援など本学から協力を要請していく、等の活動が含まれる。</p> <p>また、奨学金を支給する留学生については、医師免許取得後、奨学金支給期間の1.5倍程度の期間(以下、義務年限)、本学が指定する日本及び母国の医療機関において医師として勤務することとしているが、義務年限修了後の進路については、留学生と推薦元が相談の上決定することになる。本学は、各国の人的、組織的なネットワークによる支援及び交流を継続的に行う。</p> <p>全ての外国人卒業生が母国において保健医療の各分野でのリーダーとして活躍しながら、我が国の医学や医療制度を学び続けられるよう継続的に支援していく中で、こうした卒業生が本学の留学生の開拓、卒業後のキャリア形成における各国の人的拠点となり、本学の留学生に対する医学教育、卒後支援に持続可能なサイクルを生み出す体制を構築していく。(29)</p>	<p>未履行</p> <p>(次頁へつづく)</p>

留意事項

未履行

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未 履 行 事 項 について の 実 施 計 画
	<p style="text-align: center;">留意事項</p>	<p>定員140名の内、留学生枠を20名設けているが、この中でアジア6か国の提携大学や政府機関等の推薦を踏まえ本学が奨学金を支給する留学生については、平成29年度の5か国13人から平成30年度は6か国16人へと出身国が多様化し、人数も増加した。一方、私費の留学生は、平成29年度の5か国・地域7人から、平成30年度は3か国4人であった。</p> <p>在学中6年次に必修として全員が履修・参加する「海外臨床実習」は、卒後のキャリア形成に重要な実習経験となるが、設置時に実習の受け入れを承諾していた海外の提携大学、医療機関を含め、派遣先の整備を具体的に進めるため、前述のとおり、外国人教員を多数配置するチームを設置した。</p> <p>また、本学卒業生が母国で臨床医として活躍するための環境づくりもその狙いの一つとして長期的に取り組むため、今年度から国際的視点からの医学教育に焦点を絞った「IUHW国際医学教育シンポジウム」を平成30年4月に開催した。(30)</p>	<p style="text-align: center;">未履行</p> <p>(前頁からのつづき)</p> <p>引き続き、全ての留学生が本学医学部を卒業後、将来的に母国医療界のリーダーとして活躍できるよう、キャリア支援の一環としても、海外臨床実習の受け入れ体制づくりを進めるほか、「IUHW国際医学教育シンポジウム」の定期開催を通じて、本学の医学教育の国際通用性について、参加するアジアの推薦大学や関係機関が認知、理解を深めるよう促し、環境作りを進める。</p>

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p>医学教育統括センターは、本学の教育目標を達成するために重要な位置付けであると考えられることから、以下の点に留意し、その役割を十分に果たせるよう適切に運営すること。</p> <p>(1)同センターに係る規程等を整備し、コース・ディレクター等センターに配置される職員の役割、責任体制、指揮命令系統等を明確にすること。</p> <p>(2)専任教員25名及び兼任教員15名に加え、事務職員や技術職員等を十分に配置し、多岐にわたる業務を円滑に実施する体制を整えること。</p>	<p>(1)「国際医療福祉大学医学教育統括センター規程」を添付資料1の通り整備し、同センターが学長直属の組織であることを明記した。その業務を統括する医学教育統括センター長の役割を明記したほか、コース・ディレクター等の役割、責任体制等を明確にした。15のコースのコース・ディレクターは担当教員から授業計画の提示を受け、指導・助言をする。授業ごとに行われる担当科目の授業アンケートに目を通し、評価に問題があった場合は担当教員と具体的な改善策を話し合うほか、次回の授業を見学して授業評価が向上するまで細やかな支援を行う。(29)</p> <p>整備した規程に基づいてコース・ディレクター等による細やかな支援体制を定着させた。(30)</p> <p>(2)医学教育統括センターに専従の3人の事務職員を配置したほか、学務課の教務係・学生係および国際交流センターの事務職員が日常的に業務を支援する体制をとっている。ICT活用など技術面では、本学の情報システム部長であり教育システムの責任者を務めている准教授がe-learningの整備・運用を担当し、講義資料のオンライン提供や出欠管理、授業アンケート等を管理している。さらに、医療情報学が専門の医学教育統括センターの教授が学生などに関して得られたデータの集計・分析を担当している。(29)</p> <p>医学教育統括センターの体制を強化し、事務職員は専従で4人に加え、兼務4人を配置している。システム担当は准教授以外に技術職員2人が常駐し、e-learningの運用などを管理している。(30)</p>	<p>履行済</p>

留意事項

履行済

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p>運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。</p>	<p>校地から1,400mのところにある5,600㎡余りの運動場に平成29年4月、テニスコート3面と駐車場、トイレ、シャワー室、ロッカールームが完成し、成田看護学部・成田保健医療学部と共用で利用を開始した。医学部のカリキュラムに体育の科目はないが、今後課外活動などの際に必要に応じマイクロバスなど大学の公用車により学生の利用の便を図る。クラブ活動は成田キャンパスの3学部一体で行うこととし、顧問の教員の活動や外部の施設を利用する場合の補助などを通じ、引き続き大学として課外活動を支援していく。(29)</p> <p>医学部の学生による課外活動はきわめて活発で、学生委員会を通じて大学として学生の課外活動に配慮し、支援している。(30)</p>	<p>履行済</p>

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<医学部 医学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件</p> <p>(1)C. 使用する教科書等の教材</p> <p>「AccessMedicine（アクセスメディシン）」という電子教材集を採用する予定である。これらは紙の書籍に比べ頻繁にコンテンツの更新が行われるため、記載されている情報の信頼性は高く、PubMedなど医学文献データベース等の関連情報へのアクセスも容易で、利便性も極めて高いと評価されている。さらに、これ以外に必要な参考図書についてもeテキストとして閲覧・学習が可能な環境を整備する。学内全域に無線LAN環境が整備され、学生は授業中や自主学習において、個人のタブレットやPCからこれらのコンテンツにいつでもアクセスでき、また、本医学部で選定された電子書籍プラットフォームについてはその費用を本学で負担し、学生へ負担を求めない予定である。</p> <p>(2) 履修指導方法</p> <p>1学年140人を35人ずつ4クラスに分け、各クラスに講師・助教等の若手教員を学生相談教員として配置し、学生の履修指導を行うとともに、生活面の相談に応じる。</p> <p>8. 入学者選抜の概要</p> <p>(2) 入学者選抜の方法と募集人員</p> <p>① 入試区分と募集人員</p> <p>入試区分として以下の三つの方法を採用し、それぞれ以下の募集人員とする。</p> <p>募集人員 140人 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試：100人 ・大学入試センター試験利用入試：20人 ・留学生特別選抜入試：20人 	<p>当初導入を予定していた「AccessMedicine（アクセスメディシン）」に加え、「ClinicalKey」という電子教材集を採用した。これは、1年次の授業科目の教科書として指定された書籍のうち、7点（約6万5千円相当）がこの「ClinicalKey」に含まれることが判明したことが契機である。追加の導入となったため、学生には1人当たり9千円程度の負担をお願いしたが、個別に書籍で購入する場合に比べ学生にとっての実質的な負担は大幅に小さくなる。また、「ClinicalKey」の導入により参照できる電子書籍やジャーナルが飛躍的に増大したため、教育の質の向上に大きく寄与している。</p> <p>きめ細やかな指導を徹底するため、1学年を7人ずつの20グループに分けることとした。また、経験豊富な教授クラスの教員も若手教員と組み合わせの上、相談教員として配置した。さらに、相談教員の統括担当者を配置し、医学部全体の学生情報や相談ノウハウの共有を図っている。</p> <p>開設初年度における入試区分ごとの志願者数および入学者数等の状況を鑑みて、平成30年度入学者選抜では以下のように募集人員の微修正を行った。</p> <p>募集人員 140人 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試：105人 ・大学入試センター試験利用入試：15人 ・留学生特別選抜入試：20人 ・帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試：若干名 <p>本学医学部のアドミッション・ポリシーに適合した「国際的に活躍することを志向する優秀な学生」の受け入れをさらに促進するため、国際的なバックグラウンドをもつ多様な学生の選抜を意図した「帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試」の入試区分を新設した。</p> <p>選抜方法としては、英語、数学、理科（物理・化学・生物から2科目選択）、小論文に加え、丁寧な個人面接を行うことで、他の入試区分同様、学力のみならず人物面も重視して選抜を行った。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学則に基づき大学としてFD委員会を置き、成田キャンパスには「成田キャンパスFD委員会」を設置している。
（資料2「国際医療福祉大学FD委員会規程」）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度は成田キャンパスのFD委員会を11回開催した。平成30年度も医学部、成田看護学部、成田保健医療学部合同で11人の委員によるFD委員会を毎月開催する。医学教育統括センター長が副委員長を務めているほか、医学部の教員の委員が1人増えた。医学部独自にもFD活動を展開する。委員会は原則毎月1回開催している。

c 委員会の審議事項等

成田キャンパスFD委員会は、研修会の開催などによる教員の資質向上、授業アンケートの実施などを審議する。

② 実施状況

1. 成田キャンパス全体としての取り組み

平成30年2月に成田キャンパス合同FD研修会を開催し、「大学教育におけるアクティブ・ラーニング：ICTの活用」というテーマで、医学部の外国人英語教員2人が講師を務めた。約100人の教員が参加し、医学部の英語教育で実践している情報通信技術の活用について研鑽を積んだ。このほか平成29年度は、全キャンパスを遠隔システムで結ぶ「合同教員研修会」が9月と3月に開かれた。SDとしては、職員の採用時や半年後に新入職員の研修を行っているほか、役職への昇格時に事務管理やコンプライアンスなどをテーマに研修を実施している。成田キャンパスとしては平成28年度に「ハラスメント」、平成29年度は9月に「メンタルヘルス」をテーマに教職員の研修を実施し、平成29年9月は65人が参加した。

2. 医学部独自の取り組み

a 実施内容

- ①開学後、毎週水曜にミニFDを開催している。
- ②専門教育科目の授業のレベルを上げるための実践的なFDを3回実施した。
- ③教員相互に授業を参観する取り組みを続けている。

b 実施方法

- ①ミニFDは、海外経験の豊富な日本人教員や外国人教員がそれぞれ講師役を務め、模擬授業などによりアクティブ・ラーニングなどの教育方法を互いに学んでいる。テレビ会議システムを活用し、成田と東京の両方で参加できる方法をとっている。
- ②授業のレベルを上げるためのFDは同じ内容で3回実施し、e-learningシステムにも動画を掲載した。
- ③医学教育統括センターに所属する教員を中心に、随時ほかの教員の授業を参観し、フィードバックを行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①平成29年度は合計37回の30分ずつのミニFDを開催し、「アクティブ・ラーニング」「医学教育のための電子学習ツールやアプリについて」「医学生による性的非行の防止と対応」「医師国家試験の語彙、漢字分析」「ミャンマーにおける医学教育」等、様々なテーマで教員教育を行った。毎回20人～30人の教員が参加している。
- ②専門教育科目の授業のためのFDは、平成30年1月下旬から2月初旬にかけて同じ内容で3回実施し、計100人以上が参加した。このFDでは「これまでの教育の問題点と解決策」「魅力的な講義やスライドの作り方」「著作権関連の注意」についての実践的かつ参加型のセッション、既に英語で分子生物学を1年生に教えた教員による「60分授業の組み立て方の例」「アクティブ・ラーニングのコツ」の講演を中心に教員が研鑽を積んだ。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ①毎週のミニFDでは講師役と受講者双方のスキル向上を目指している。
- ②医学部FDは参加者の授業準備に効果を上げた。参加者以外の教員にも広く内容を周知し、研鑽に生かした。
- ③授業を参観した感想を担当教員に伝えることにより、下記の学生による授業アンケートと合わせて授業内容や講義手法の迅速な改善につなげている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

開学時より実施している。授業向上を目指すアンケートは基本的に毎授業ごとに、カリキュラム向上を目指すアンケートは学期終了時及び学年終了時に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

無記名の授業アンケート結果は、授業担当教員が授業終了直後から閲覧可能となっており、自らの授業振り返りに役立っている。また全ての授業アンケートは、医学教育統括センター内の教員サポートチームが分析し、毎週の医学教育統括センター会議で分析、討論し、授業改善案を医学部教員全員と共有している。学期末及び学年末アンケート結果は、カリキュラム委員会で審議予定である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 学部・学科等の特色について

○本学医学部の特色

基礎・臨床統合カリキュラムについては、更なる充実のため、科目担当者である診療科主任教授を中心とする会議を開催した上で、申請時を上回る教員体制を整備するため、追加教員を順次、申請している。医学教育シミュレーションセンターについては、計画どおり、先行して竣工したⅠ期棟(WB棟)に加えⅡ期棟(WA棟)の4階部分を竣工させ、授業を実施中である。英語による医学教育についても、計画どおりに平成29年度1年次の1学期から一部の日本語で行う授業科目を除き、「英語」および「日本語または英語」で実施していることに加え、2学期以降の専門基礎教育科目は全て英語で実施した。海外の臨床実習の準備状況については、留意事項に関する別項で説明した。医学教育統括センターを学長直属の組織として設置し、学生オリエンテーション、e-learningシステムの運営、学生支援室の設置、学生相談教員との連携による学生サポートの開始、コース・ディレクターとの連携による授業アンケートに基づく教員サポートの開始、アクティブ・ラーニングに関するFD等を実施した。さらには、医学教育に関する研究について国内外の学会で発信し、科学研究費補助金に採択される等、様々な業務を開始している。

○大学院医学研究科公衆衛生学専攻の設置

医学専攻博士課程とともに医学研究科を構成する公衆衛生学専攻修士課程として設置申請が認可され、平成30年4月に開学した。

○ゲノム医学研究所・高度生殖医療リサーチセンター・感染症国際研究センターなど

医学部Ⅱ期棟(WA棟)が竣工し、平成30年度よりゲノム医学研究所、高度生殖医療リサーチセンター、感染症国際研究センター、リサーチパーク等が本格稼働を開始した。基礎医学に興味を持つ学生を募り、放課後や休暇期間など課外の時間において、各自の希望に基づいて基礎実験等の指導を受けられることとしている。

2. 教育課程の編成について

○教育課程の編成

1コマ60分授業で設置の趣旨どおり授業を開始している。授業科目については、日本語で実施する旨申請した、総合教育科目の人間系・社会系・全地球的な課題の授業科目のうち2科目について英語を多用する授業に変更し、さらに英語を多用する自由科目を2科目追加した。英語を多用する人間系・社会系・全地球的な課題の授業は、留学生だけでなく日本人学生も受講している。また、平成29年度に総合教育科目「社会系」に、英語で実施する「現代日本考-政治・経済・社会・文化を理解する道しるべ-」、および平成30年度に「経済成長をめぐる世界の諸問題」を追加した。これらを踏まえ、設置の趣旨を上回る教育課程の編成が実現していると考えている。

また、留学生への配慮として、日本語で実施している授業科目については、予習課題や授業資料、授業中の説明を英語で追加したり、一部英語による補習を行ったりしている。英語教育については、入学直後のオリエンテーションでTOEFL-ITPを実施し、その結果で「英語Ⅰ(入門)・Ⅱ(応用)」を能力別に4クラスに分け、授業を実施している。

「海外医療体験」(自由科目)は、我が国の医療事情と比較検討して、我が国を含めて将来の望ましい姿を議論し理解することを目的としている実習科目で、初年度13人が海外で実習を行った。入学まで外国を訪問したり、交流したりする機会の少なかった学生にとっては、早い段階で海外に目を向ける格好の機会となっており、本学の開設の趣旨でもある国際的な医療人材の育成においても有用な科目であると考えている。

(次頁へつづく)

○医学教育モデル・コア・カリキュラムとの対応関係

医学教育モデル・コア・カリキュラムとの対応関係については、平成28年度改訂版が公表されたため、本学カリキュラムとの対応関係を確認し、適用される学年平成30年度以降の学生の教育に反映させることとした。カリキュラムマップについては、各授業科目と、建学の精神、アドミッション・ポリシーおよびディプロマ・ポリシーとの関連、さらには英語を多用する授業の実施や授業科目相互の関連を、より明確にする「履修系統図」を作成し、学生に示したほか、授業科目のシラバスには、ディプロマ・ポリシーに加えて、卒業時コンピテンシーとの関連を明示した。

○学力不振者への対応

設置の趣旨を記載した書類のとおり、自由科目の「英語コミュニケーションA(入門)・B(実践)」を実施しており、平成29年度は49名が単位を取得している。英語能力のキャッチアップとしては、効果的であると考えている。同じく学力不振者を早期に発見し対応するため、前述した英語のクラス分け、自由科目の履修以外に、医学教育統括センターにおいて、出席状況、授業内で実施しているレポート、中間試験の結果等の情報を、科目を超えて迅速に収集し、科目担当者および学生相談教員との面談を早期実現する等、対応している。1学年末に学力不振者や遅刻の多い者など約10人を対象に、学生、保護者と教員で面接を実施した。学生の自己評価など三者で共有することで大きな教育効果があったと考える。

○留学生への対応

日本語を未修得の留学生への対応として、来日後医学部入学までの平均5か月余りの期間、留学生別科の日本語授業を受講した。これに加え、希望者に対しては、生物学などの自然科学系の事前学習を履行した。1年次1学期の講義に関して、日本語能力が十分なレベルに達していない留学生が一部いることに配慮し、日本語で行われる科目について以下の対応を行っている。

- ・講義内容の概要・要点について英語版と日本語版の資料を授業前に作成する
- ・講義中に英語で随時補足を行う
- ・講義時間外で随時質問を受け付ける
- ・講義時間外で英語による補習を行う
- ・試験は日本語と英語で出題し、解答は英語でも可とする。

また、物理学のように国によって高校で履修する範囲や内容に大きな差のある科目については、講義開始前に学力試験を実施し、レベルの把握をした上で講義を行っている。大半の留学生については継続的に日本語教育を行い、日本語能力が十分なレベルに達しつつある。

○医学教育統括センター

平成30年度からは医学教育統括センター長の下に、副センター長が任命され、センター業務の運営体制を強化した。

平成29年度、医学教育統括センターの事務職員は専従で4人を配置し、教員・技術職員と一体となって授業や会議等の運営に当たった。平成30年度に入り現在は兼務を含め事務職員を8人に増やしている。システム担当は従来からの准教授以外に技術職員が2人センターに常駐し、e-learningの運用などを管理している。

医学教育統括センターの会議体制も、平成30年度は別に設けていた学生サポート会議と教員サポート会議を、より包括的で一貫性のある具体的な対策を迅速に検討し意思決定の上、医学教育統括センターの業務に反映させるため、全ての専任教員およびコース・ディレクターが参加する医学教育統括センター運営会議に統合した。一方、医学教育統括センターの兼任、専任の全ての教員を対象とし、運営会議で決定したことを報告し、一定のテーマについて意見交換を行う場として、医学教育統括センター連絡会議を設置した。

3. 施設、設備等の整備計画

Ⅱ期棟を平成29年12月15日に引き渡しを受けた。Ⅱ期棟に配置すべき学習設備・機器を順次整備し4月より2期生(新1年生)と1期生(新2年生)の授業を開始した。Ⅱ期棟にはTBL10室とSGD室22室があり、Ⅰ期棟とあわせて計画を達成した。

図書の整備は学年進行に従って整備している。今期は昨年に続いて教員より推薦を受けた図書のうち医学部図書室に配架すべきものとされたもの約1,800冊を追加した。現時点では昨年分の図書とあわせて既存の図書館内に書架をわけて配架している。学術雑誌は当初の計画を大きく上回って昨年整備、購読したものを本年度も継続購読として学生の勉学の助けとしている。

ただし、視聴覚資料については個別のコンテンツとして導入せず、e-learningシステムの充実を図った。

教科書は、昨年整備した「AccessMedicine」、「ClinicalKey」を引き続き活用している。また追加した図書約1,800冊のうち、700冊は電子ブックであり、昨年度に引き続いて、教科書・参考書の電子化、ICTを活用した学習・教育環境の充実をはかっている。学生は、学内全域はもとより、VPN接続により自宅からのアクセスも可能である。また、より実践的な学習環境とすることから、専門図書のみならず専門学術雑誌の充実をはかっている。Wi-Fi設備もⅡ期棟各室に配備し、Ⅰ期棟と合わせ館内どこでもアクセスできるようにした。e-learningシステムに関しては、配信サーバーを増設し、e-learningシステムの本体であるmoodleのプラグインを新たに開発して機能拡充を行い、アクティブ・ラーニング活用の支援強化をはかった。

4. 入学者選抜について

平成30年度は、募集人数105人の一般入試に、2,529人が志願し2,442人が受験した。一次選考で選抜した581人に対してアドミッション・ポリシーに合致した入学者を選抜するために、書類選考および一人あたり30分の面接試験を2回実施した。これらの学力だけでは測ることができない人物も加味した二次選考により、222人の正規合格者と193人の補欠候補者を選抜した。

一方、募集人数15人のセンター試験利用入試には、762人が志願し747人が受験した。一次選考で選抜した281人に対して、一般入試と同様の二次選考により、15人の正規合格者と51人の補欠候補者を選抜した。

また、平成30年度に新設した帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試に63人が志願し、63人が受験した。一次選考で選抜した52人に対して、筆記試験および小論文試験、面接試験等からなる二次選考により、6人の正規合格者と1人の補欠候補者を選抜した。

さらに、募集人数20人の留学生特別選抜入試には、99人が志願し94人が受験した。一次選考で選抜した36人に対して、筆記試験および小論文試験、面接試験等からなる二次選考により、18人の正規合格者と3人の補欠候補者を選抜した。

以上、一般入試とセンター試験利用入試および帰国生および外国人学校卒業生特別選抜入試から120人、留学生特別選抜入試から20人の入学者を選抜した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

大学全体として平成29年度に、27～29年度を対象期間として3つのポリシー点検や国際交流のさらなる進展などをテーマに自己点検・評価を行った。報告書は5月中旬に公表する予定である。

b 公表方法

大学ホームページに掲載するほか、関係する自治体・図書館・他大学などに報告書を配布し本学への外部からの意見の収集に努める。

③ 認証評価を受ける計画

平成33年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成30年5月31日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

国際医療福祉大学医学教育統括センター規程

(目的)

第1条 医学教育統括センターは、学長直属の組織として医学部に設置し、医学教育について企画・指導及び必要な調整を行うと同時に、学生の情報収集・分析、そして医学教育の研究・情報発信を行い、医学教育の統括と向上を図ることを目的とする。

(医学教育統括センター長)

第2条 医学教育統括センターに、医学教育統括センター長を置く。

2 医学教育統括センター長は、医学教育統括センターを代表し業務を統括する。業務にあたっては医学部長、副医学部長及び学務部長と協議し、業務を遂行するものとする。

3 医学教育統括センター長は、専任の教授のうちから学長の推薦に基づき理事長が任命する。

4 医学教育統括センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(組織・運営)

第3条 センターの行う業務は、別表第1のとおりとする。

第4条 センターに、学長の指名する教員を置く。

2 前項の教員の数は、理事長が別に定める。

第5条 センター長は、前条の教員のうちからコース・ディレクター及び実習調整ディレクターを指名する。

第6条 コース・ディレクターは、別表第1の教育・カリキュラム部門の第1欄、第2欄及び第6欄の業務を主として担当する。

2 コース・ディレクターの数は、別表第1の教育・カリキュラム部門の第2欄に掲げるコースの数とする。

第7条 実習調整ディレクターは、別表第1の教育・カリキュラム部門の第3欄の業務を主として担当する。

2 実習調整ディレクターの数は10人以上とし、そのうち附属病院・関連教育病院担当を6人以上、海外実習病院担当を4人以上とする。

第8条 センター長は、第3条の教員のうちから別表第1のシミュレーション教育部門の業務を担当する者を3人指名する。

第9条 センターにカリキュラム委員会、臨床実習運営連絡協議会及び成績管理・卒業判定委員会を置く。

2 前項の委員会の役割、委員及び開催頻度は、別表第2のとおりとする。

第10条 この規程に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、別に定める。

(改廃)

第11条 この規程の改廃は、常任理事会の承認事項とする。

附則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

別表第1 センターの行う業務(第3条関係)

教育・カリキュラム部門																	
1	<p>カリキュラムの策定・評価・改定に関すること。</p> <p>各学生の各授業における日々の成績や授業評価、医師国家試験の結果、その他に関する情報を収集し、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに照らして問題の発見、評価、改定の立案を行い、カリキュラム委員会で報告・審議し、PDCA サイクルを推進する。</p>																
2	<p>コースの運営に関すること。</p> <p>各授業が連携を取り合い効率的・効果的に進めるため、類似の授業をまとめて、次に掲げるコースとし、各コースの企画・実施管理・成績集計とその一次判定を行う。</p> <p>【コース】</p> <table border="0"> <tr> <td>① リベラルアーツ（文系）コース</td> <td>⑨ 基礎医学（機能系）コース</td> </tr> <tr> <td>② リベラルアーツ（理系）コース</td> <td>⑩ 産婦人科コース</td> </tr> <tr> <td>③ 外国語系コース</td> <td>⑪ 基礎臨床総合コース</td> </tr> <tr> <td>④ 日本語系コース</td> <td>⑫ 専門臨床コース</td> </tr> <tr> <td>⑤ 医療プロフェッショナルリズムコース</td> <td>⑬ 多職種連携教育（IPE）コース</td> </tr> <tr> <td>⑥ 国際医療保健コース</td> <td>⑭ 社会医学コース</td> </tr> <tr> <td>⑦ 医療面接・身体診察コース</td> <td>⑮ 応用臨床コース</td> </tr> <tr> <td>⑧ 基礎医学（構造系）コース</td> <td></td> </tr> </table>	① リベラルアーツ（文系）コース	⑨ 基礎医学（機能系）コース	② リベラルアーツ（理系）コース	⑩ 産婦人科コース	③ 外国語系コース	⑪ 基礎臨床総合コース	④ 日本語系コース	⑫ 専門臨床コース	⑤ 医療プロフェッショナルリズムコース	⑬ 多職種連携教育（IPE）コース	⑥ 国際医療保健コース	⑭ 社会医学コース	⑦ 医療面接・身体診察コース	⑮ 応用臨床コース	⑧ 基礎医学（構造系）コース	
① リベラルアーツ（文系）コース	⑨ 基礎医学（機能系）コース																
② リベラルアーツ（理系）コース	⑩ 産婦人科コース																
③ 外国語系コース	⑪ 基礎臨床総合コース																
④ 日本語系コース	⑫ 専門臨床コース																
⑤ 医療プロフェッショナルリズムコース	⑬ 多職種連携教育（IPE）コース																
⑥ 国際医療保健コース	⑭ 社会医学コース																
⑦ 医療面接・身体診察コース	⑮ 応用臨床コース																
⑧ 基礎医学（構造系）コース																	
3	<p>臨床実習の運営に関すること。</p> <p>学生に対し臨床実習のオリエンテーションを行う。</p> <p>実習日程や配属先など全般的な事項を企画、臨床実習運営連絡協議会で報告・審議し、実習ディレクター（各附属病院・関連教育病院・海外実習病院の各診療科に所属する臨床実習の責任者をいう。別表第2において同じ。）とともに、屋根瓦方式の教育体制を含む実習計画の立案、準備、実施中の連絡、情報収集、事後の評価、再立案を行い、PDCA サイクルを推進する。</p>																
4	<p>教材の企画・開発及び ICT 活用教育に関すること。</p> <p>共通教材及び教材を配布・閲覧する ICT システム等について、直接企画・開発する。その他、個別の授業教材について、各授業の担当教員や学生による企画・開発を支援する。</p>																
5	<p>臨床実習前の CBT、OSCE、卒業時 OSCE に関すること。</p> <p>医学教育モデル・コア・カリキュラムをもとに、臨床実習前に修得しておくことが必要とされる知識・技能・態度を評価する CBT (computer-based testing)</p>																

	及び OSCE (objective structured clinical examination)、さらには卒業時 OSCE について、シミュレーション教育部門とともに、立案、準備、実施、事後の評価、再立案を行い、試験の質に関する PDCA サイクルを推進する。
6	成績管理及び卒業判定に関すること。 各学生の各授業における日々の出欠状況及び成績に関する情報を収集し、成績管理・卒業判定委員会で報告・審議し、その結果を代表者会議で報告する。
7	学生相談に関すること。 学生に対し、主に心療内科、精神科等の医師、臨床心理士との連携の下、生活・健康・修学に関する相談窓口を設けるほか、学生の生活・健康・修学に関するパンフレットやウェブサイトを作成し、学生への周知を行う。さらに、各学生の各授業における出欠状況及び成績の情報、生活・健康・修学に関する情報収集を行い、問題の早期発見・早期介入を行う。
8	FD・SD の企画・運営に関すること。 教職員のニーズや授業評価等、学生の授業に対するニーズに関する情報収集を行い、教職員研修の立案、教材作成、準備、実施、事後の評価、再立案を行い、PDCA サイクルを推進する。
9	入学者選抜の管理に関すること。 学外の情報収集、アドミッション・ポリシーに則った入学者選抜に関する企画立案を行い、入学試験システム委員会に提案する。また、学生の入学後の修学・成績状況、卒業後の進路等の情報を収集し、選抜制度の見直しを行う。
10	多職種連携教育に関すること。 学内の他学部・学科の教職員との連携の下、他学部・学科の授業に関する情報や関連学術会議等の情報を収集し、本学の多職種連携教育に関する授業等の立案、準備、実施、事後の評価、再立案を行い、PDCA サイクルを推進する。
11	学外の医学教育の情報収集に関すること。 各業務及び大学の方針への反映に資するため、国内外の他の医科大学、他の医療専門職の教育機関等による発信情報、及び学術会議、全国医学部長病院長会議、医師会等の非政府機関による医学教育に関する方針、さらには文部科学省、厚生労働省、内閣府等の政府・行政機関、WHO、WFME 等の国際機関による医学教育に関する政策等の情報を収集し管理する。
12	医学教育の IR に関すること。 将来的に各ポリシーをはじめとする医学教育全般及び大学全体の運営方針の改善に資するため、各学生の入学から在学中、卒業後の進路等に関する情報を収集、分析し管理する。
13	医学教育の研究に関すること。 本学の医学教育に関する種々の試みを実証し、国内外の医学教育の質向上に資するため、センターの全教員及び一部の職員は、担当する業務に応じた研究課

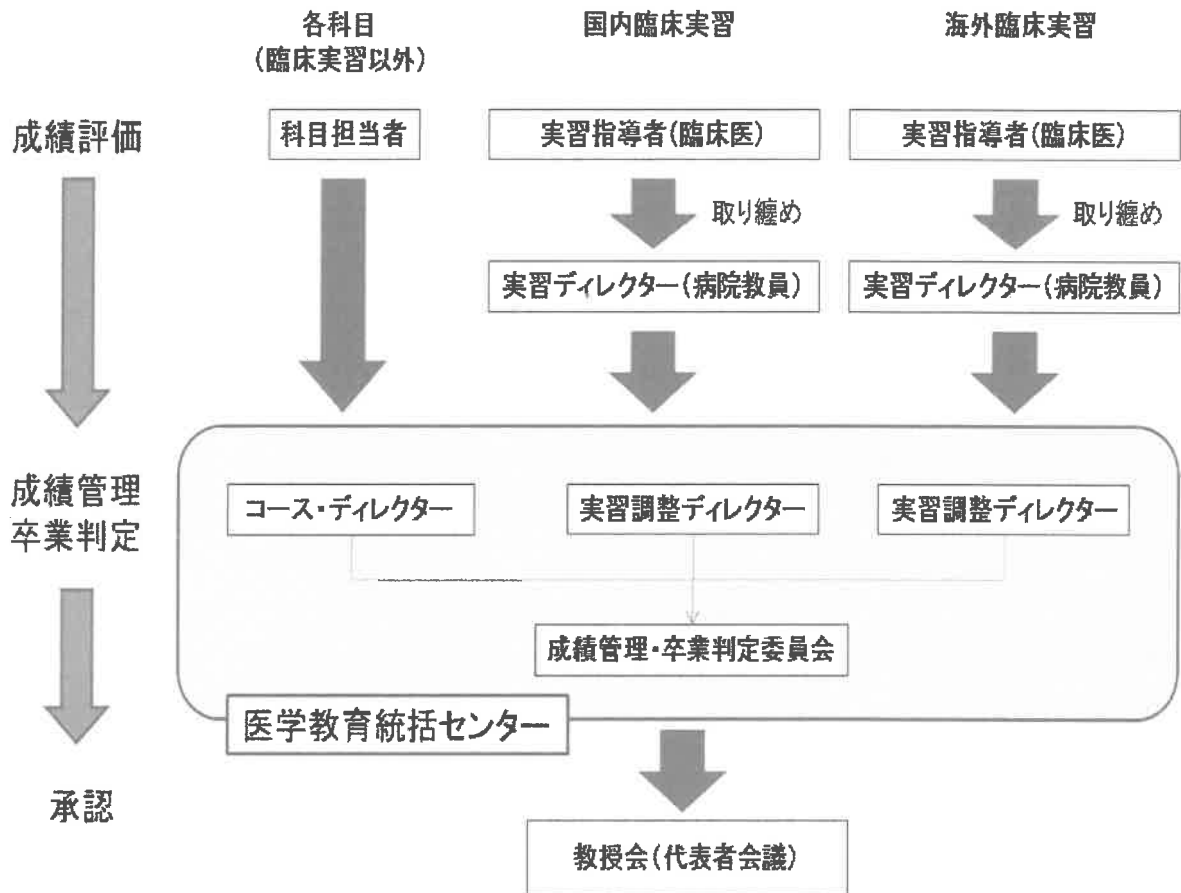
	<p>題を設定し、研究の進捗状況を共有する。一方、次に掲げる国内外の医学教育に関する学術団体に所属し情報収集に努め、これらの学術集会、学術雑誌等に研究成果を発信する。</p> <p>日本医学教育学会、日本シミュレーション医療教育学会、日本医学英語教育学会、日本保険医療福祉連携教育学会、医療系全国 e ラーニング交流会、AMEE（欧州医学教育学会）、AAMC（米国医科大学協会）、APMEC（アジア太平洋医学教育学会）等</p>
14	<p>医学教育の情報発信に関すること。</p> <p>医学教育の質向上及び説明責任を果たすため、学内の学生、教職員、及び国内外の社会を対象として、ウェブサイト、SNS、その他の手段により、センターの業務に関する情報を発信する。</p>
15	<p>その他、医学教育・カリキュラムに関すること。</p>
シミュレーション教育部門	
1	<p>シミュレーション教育に係るカリキュラムの策定・評価・改定に関すること。</p> <p>シミュレータや模擬患者等を活用する総合教育、専門教育の授業等の策定・評価及び改定を行う。</p>
2	<p>シミュレータの選定・管理に関すること。</p> <p>国内外の医療系教育機関及び学術集会等でシミュレーション教育やシミュレータの情報を収集し、シミュレータの選定及び故障時や消耗品等の管理を行う。</p>
3	<p>模擬患者（SP）の養成に関すること。</p> <p>学外の地域住民等と連携し、模擬患者の養成、登録、研修、及び模擬患者参加型授業や OSCE 等の試験を担当する教職員への FD・SD を実施した上で、各授業への派遣を行う。</p>
4	<p>その他、シミュレーション教育に関すること。</p>

別表第2 委員会の役割、委員及び開催頻度(第9条関係)

カリキュラム委員会	
役割	カリキュラムの策定・実施・評価・改定に関する重要事項を審議
委員	センター長(委員長) コース・ディレクター 実習調整ディレクター シミュレーション教育部門の担当教員 その他センター長が指名する教職員
開催頻度	年3回以上
臨床実習運営連絡協議会	
役割	臨床実習の運営に関する重要事項の審議、連絡調整等
委員	センター長(委員長) 実習調整ディレクター 実習ディレクター 附属病院長 その他センター長が指名する教職員
開催頻度	年3回以上
成績管理・卒業判定委員会	
役割	成績管理・卒業判定に関する重要事項を審議 同委員会で、別紙のフローに従い、各学生の成績や卒業の判定について協議を行い、教授会の承認を得る。
委員	センター長(委員長) コース・ディレクター 実習調整ディレクター その他センター長が指名する教職員
開催頻度	年3回以上

成績管理・卒業判定のフロー(別表第2 関係)

医学教育統括センター 成績管理のフロー



国際医療福祉大学 FD 委員会規程

(設置)

第1条 国際医療福祉大学学則第11条に基づき、本学にFD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学の定める教学の基本方針にしたがい、教育法の改善及び教員の資質の向上などFD（ファカルティ・ディベロプメント）に関して討議を行い、より質の高い教育方法の推進を図るものとする。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって構成する。

- 一 学部長の意見を聴いて学長が指名する各学科の専任教員、及びセンターがある場合にあつてはセンターの専任教員
- 二 学長が指名した者
- 三 理事長が推薦した者

2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の中から学長が指名する。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代行する。

(委員会の成立)

第5条 委員会は、過半数の委員の出席により成立する。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第6条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(小委員会の設置)

第7条 各キャンパスにFD小委員会を置くことができる。

- 2 小委員会の運営については別に定める。

(事務処理)

第8条 委員会の事務は、大田原事務部教務事務主管課が取り扱い、小委員会の事務は、各キャンパス教務事務主管課が取り扱う。

(雑則)

第9条 委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て学長が別に定める。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、常任理事会の承認事項とする。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。